

令和8年度

橋梁長期保全事業

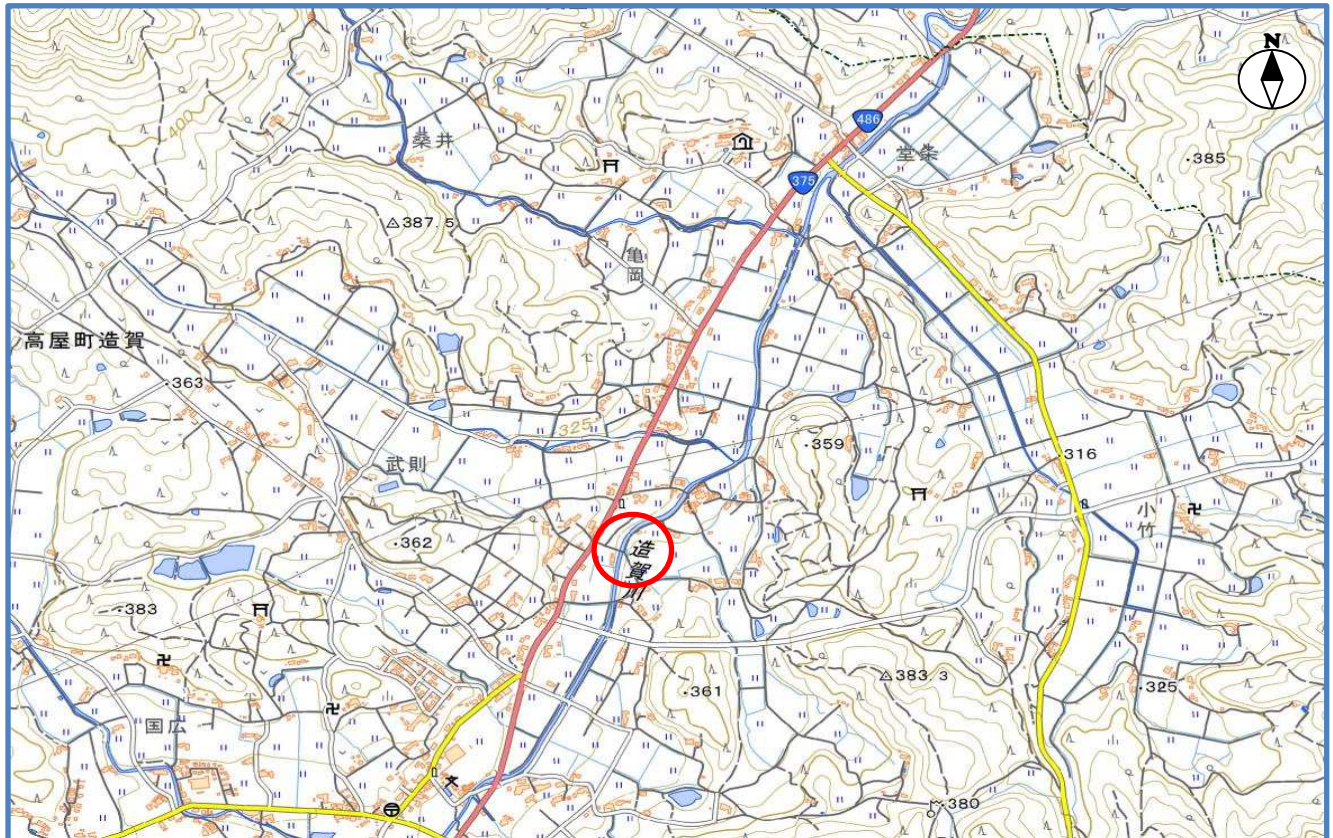
造賀東14号線1号橋橋梁補修工事

仕様書

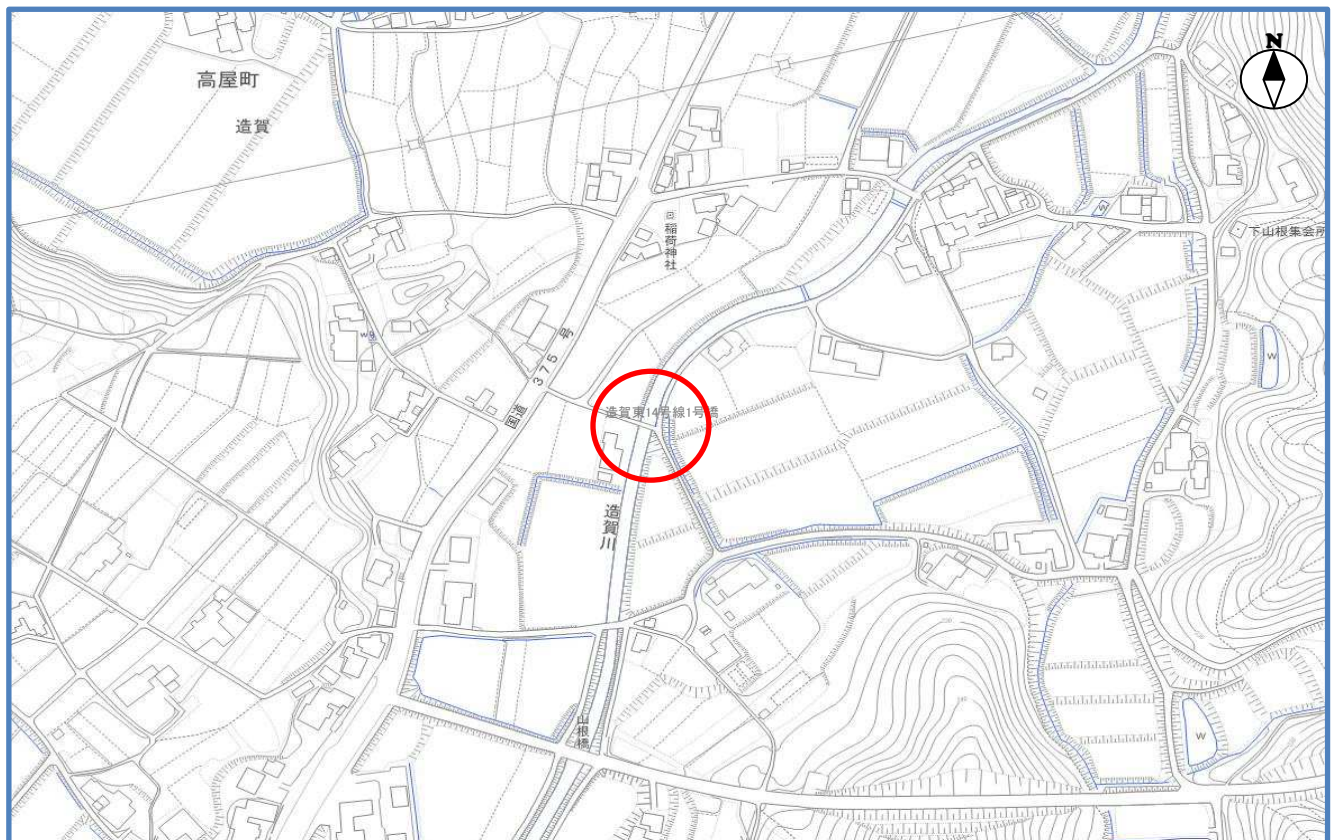
施 工 場 所 東広島市高屋町造賀

橋梁名： 造賀東14号線1号橋

町名： 高屋町造賀



詳細図



特 記 仕 様 書

(令和8年度 橋梁長期保全事業 造賀東14号線1号橋橋梁補修工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 前払金
3. 現場代理人の兼務
4. 現場作業終期日
5. 履行報告
6. 官公庁等への手続き等
7. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
9. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
10. 法定外の労災保険の付保
11. 週休2日適用工事等 週休2日
12. 建設副産物の取り扱いについて
13. 猛暑時間の施工回避
14. 猛暑日等を考慮した工期延長について
15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

第2章 施工条件

1. 工程
 - (1) 関係機関との協議
2. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
3. 建設副産物
 - (1) コンクリート殻（無筋）（搬出）
4. その他
 - (1) 塗膜に含まれる鉛等の含有量について
 - (2) 塗膜くず等の処分について
 - (3) 作業主任者
 - (4) 塗膜剥離中の防護について
 - (5) 塗膜剥離試験について

第3章 施工管理

1. 品質管理
 - (1) 断面修復工

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要綱」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要綱」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。
- (13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあつては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

- ・建設工事請負代金前金払実施要領
- ・建設工事請負代金中間前金払実施要領
- ・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあつては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあつては平成17年2月7日前の町の区域とする。
4. 現場作業終期日
本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。
なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書(令和7年8月)広島版」第1編1-1-1-23第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。
 5. 履行報告
履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。
 6. 官公庁等への手続き等
受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。
 7. 工事中情報共有システム(受注者希望型)
 - (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(受注者希望型)である。
 - (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
 - (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)
http://www.hdobokuk.or.jp/kouji_jyouthoushisutemu2.html
 - (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
 - (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
 - (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
この場合においては、次のとおりとする。
 - 1) 「1.3. 適用する基準」のうち、「土木工事監督規定(広島県)」および「土木工事監督実施要領(広島県)」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定(広島県)」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準(広島県)」とあるのは「土木工事検査技術基準(東広島市)」と読み替えるものとする。
 - 2) 「CAD製図基準(国土交通省)」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン(国土交通省)」は適用しない。
 - 3) 「4. 検査」は適用しない。
 - 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
 - 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。
 8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
 - (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
 - (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼

働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

(3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。

ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。

(4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。

(5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。

(6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。

(7) 積算方法は次のとおりとする。

1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。

なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。

(8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。

(9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

12. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壤汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受

領書を交付する場合

- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出ししないもの）

13. 猛暑時間の施工回避

- 1 本工事は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を発注者と協議し設定できる工事である。
- 2 実施方法は次のとおりとする。

(1) 内容

- ア 受注者は、現場環境に応じて猛暑時間帯の現場作業を回避し、作業の開始時間や終了時間を監督職員と協議し設定できる。
- イ 作業時間を短縮した場合は、短縮時間に応じて、工期を延長することができるものとする。
- ウ 工事における現地の立会等については、監督職員の勤務時間に合わせるものとする。
- エ 対象期間は、6月1日から9月30日までとする。

(2) 工期延長日数の算出方法

工期の延長日数^{※1}(日)＝短縮時間(時間)×対象期間^{※2}(日)÷8(時間)
なお、猛暑日等による作業不能日とは、別に考慮できるものとする。

※1 小数第1位を切り上げるものとする。

※2 現場閉所日を含む。

- 3 作業時間の変更に伴う工事費の増額については、設計変更の対象としない。

14. 猛暑日等を考慮した工期延長について

- 1 本工事は、工期に「猛暑日等による作業不能日」として、休日(土日、祝日、年末年始休暇及び夏期休暇)、降雨降雪日及び猛暑日日数を5日見込んでいる。

「猛暑日等による作業不能日」＝施工に必要な実日数×雨休率

雨休率(休日、降雨降雪日及び猛暑日日数による作業不能日を見込むための係数)： 0.78

雨休率に見込んでいる作業不能日は、次のとおりである。(過去5年間の気象庁及び環境省のデータより年間の平均発生日数を算出)

- (1) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日： 31日/年

- (2) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数： 5日/年

- 2 ・著しい悪天候や気象状況より「猛暑日等による作業不能日」が当初見込んでいる日数と著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は監督職員へ工期の延長変更を協議することができる。

・受注者は、協議の際に気象庁及び環境省の計測データ等を監督職員へ提出すること。計測データは、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所及び環境省が公表している観測地点を用いることを標準とする。

なお、提出する必要のある様式「猛暑日等による作業不能日算出表」は「広島県の調達情報HP>公共工事等の情報_様式集>建設工事関係_その他契約関係様式」に掲載している。

・費用は、工期延長日数に応じて「工事における工期の延長等に伴う増加費用の積算」(土木工事標準積算基準書(共通編)第Ⅰ編総則 第9章)に基づき増加費用を積算し、変更契約において計上する。

15. 熱中症による健康障害発生時の対応計画

- 1 猛暑による厳しい環境下での現場作業[※]が見込まれる工事を対象とする。
※WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で、連続1時間以上又は1日4時間を超える作業
- 2 受注者は、熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に、迅速かつ的確な判断ができるよう、「緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先や所在地」及び「作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等の熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順」などを施工計画書の「緊急時の体制及び対応」項目に記載するとともに、工事関係者へ周知すること。

第2章 施工条件

1. 工程

(1) 関係機関との協議

協議内容	河川管理者（広島県）と河川占用の許可及び漁協と協議後着手
範囲	橋面工を除く範囲

2. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から12日間(2人/日)を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警

備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

3. 建設副産物

(1) コンクリート殻（無筋）（搬出）

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用（単価）は変更しない。

また、運搬距離は 9.9 km を見込んでいる。

4. その他

(1) 塗膜に含まれる鉛等の含有量について

本工事の対象橋梁が含有する鉛等の量は次のとおりである。必要な安全対策を施して施工すること。

○含有量試験

【造賀東14号線1号橋】

鉛：250,000mg/kg

総クロム：1,400mg/kg

ポリ塩化ビフェニル：0.10mg/kg未満

(2) 塗膜くず等の処分について

作業により発生する塗膜くず及び塗膜付着物は、ドラム缶（少量の場合はペール缶）に分別し処分すること。

(3) 作業主任者

受注者は塗膜剥離作業中において鉛作業主任者を配置すること。

(4) 塗膜剥離中の防護について

橋梁等の塗料を剥がす作業において、様々な剥離剤が使用されているが、剥離剤に含まれる化学物質への「引火による火災」や「吸入による中毒」事案が頻発している状況にあり、原因物質の中には、特定化学物質障害予防規則（昭和47年労働省令第39号）、有機溶剤中毒予防規則（昭和47年労働省令第36号）などの法令（以下「特化則等」という。）による規制の対象となっている物質以外の物質も含まれている。

このため、塗膜剥離剤を使用する作業において発生した労働災害の事例、剥離剤に含まれる化学物質の危険有害性、剥離剤を使用する作業において講ずべき措置などについて、法令で規制されているか否かにかかわらず、化学物質の危険有害性を踏まえた適正な使用を行うこと。

なお、防護に必要な資材（負圧集塵装置、真空掃除機等）については、現場条件の変更等により数量の変更が必要な場合は、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(5) 塗膜剥離試験について

事前に塗膜剥離試験を行い、現場条件に適した塗膜剥離剤の選定及び剥離剤塗布回数（剥離回数）を設定する。

第3章 施工管理

1. 品質管理

(1) 断面修復工

本工事において、断面修復工の品質管理は下記のとおり行うこと。

試験項目	試験方法	規格値	測定箇所	摘 要
引張強度試験		1.5N/mm ² 以上	供試体	

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領－土木工事編－によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和7年8月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかとする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督

職員と協議し決定すること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
橋梁補修工		式		1	レベル2
橋梁地覆補修工		式		1	レベル3
コンクリート	24N	m3		1	レベル4
鉄筋	SD345 D13	t		0.2	レベル4
コンクリート削孔	削孔長170mm 無収縮モルタル	本		180	レベル4
支承取替・主桁取替補修工		式		1	レベル3
ゴム支承・アンカーボルト補修工		箇所		16	レベル4
ひび割れ補修工		式		1	レベル3
低圧注入工法	L=2.6m	構造物		1	レベル4
断面修復工		式		1	レベル3
左官工法	V=0.39m3 鉄筋ケレン・防錆有	構造物		1	レベル4
左官工法	V=0.15m3 鉄筋ケレン・防錆無	構造物		1	レベル4
鉄筋	SD345 D13	t		0.003	レベル4
表面保護工		式		1	レベル3
下地処理工	高圧洗浄	m2		38	レベル4
含浸材塗布工	ケイ酸塩系ナトリウム含浸材	m2		38	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
橋梁付属物工		式		1	レベル3
水切工		m		22	レベル4
伸縮装置補修工		m		6.1	レベル4
排水管設置	TSステンレス排水装置 床版貫通型（全ねじタイプ）TSDR-MH	箇所		4	レベル4
塗装塗替工		式		1	レベル3
塗膜除去工	塗布回数2回	m2		89	レベル4
廃材回収・積込	剥離剤及び塗膜かす回収・積込工	m2		89	レベル4
塗膜除去養生設備・シート設置除去	2回分	m2		93	レベル4
塗膜くず等収集運搬		式		1	レベル4
塗膜くず等処分費		kg		248	レベル4
塗装塗替工	清掃・水洗	m2		45	レベル4
塗装塗替工	素地調整 2種ケレン	m2		45	レベル4
塗装塗布工	防食下地（2回塗り/層） 有機ジンクリッチペイント	m2		45	レベル4
塗装塗布工	下塗塗装 弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料（2層）	m2		45	レベル4
塗装塗布工	中塗塗装 淡彩 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m2		45	レベル4
塗装塗布工	上塗塗装 淡彩 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m2		45	レベル4
防護柵設置工		式		1	レベル3
ベースプレート式ガードパイプ	C種	m		21	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0003

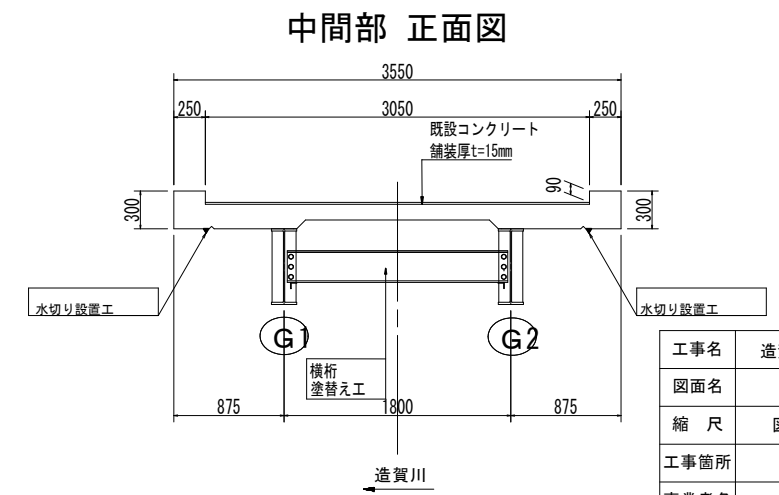
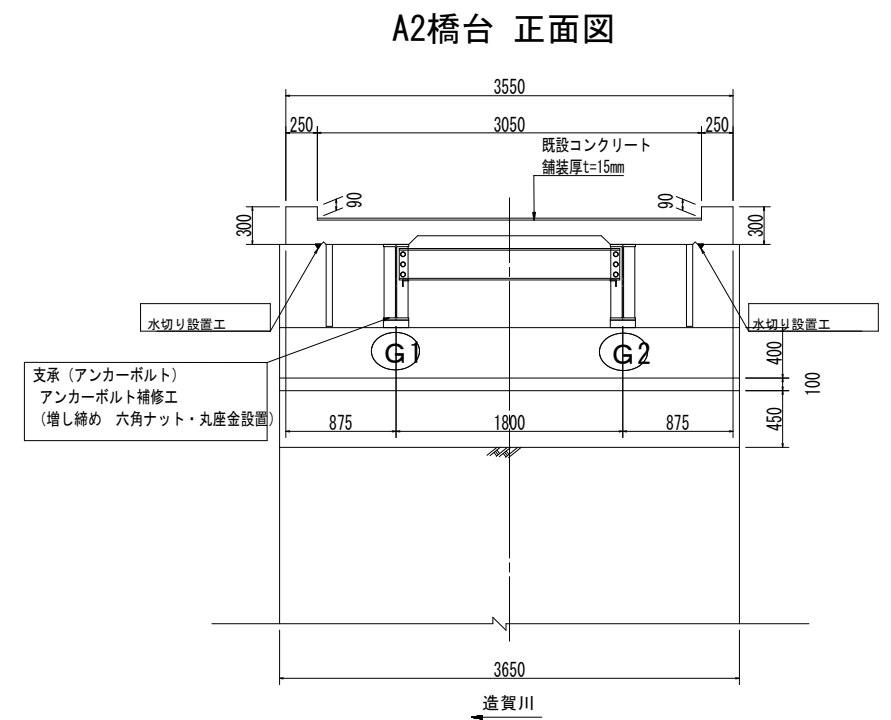
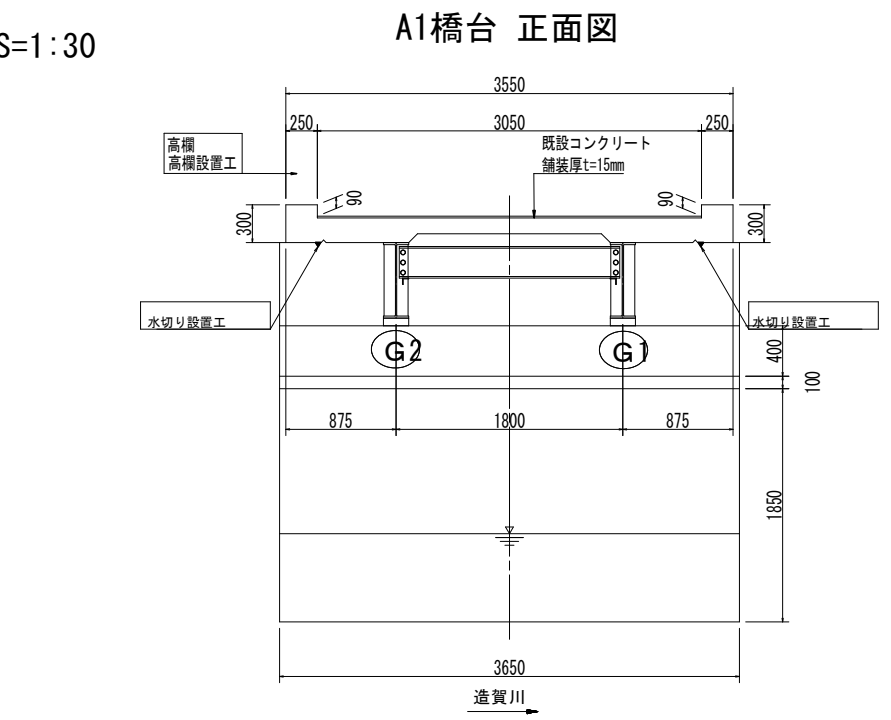
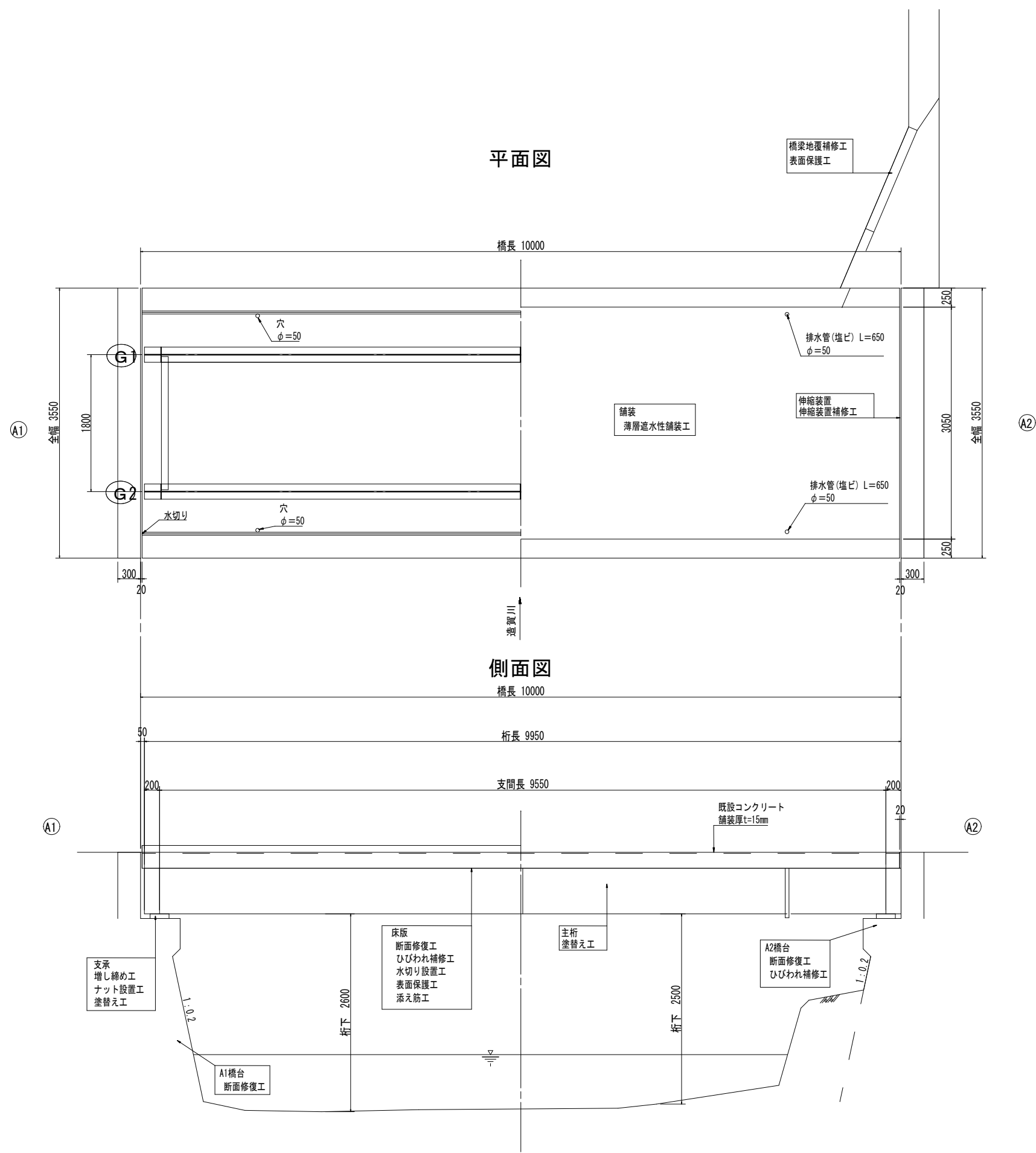
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
橋面工		式		1	レベル2
舗装打換え工		式		1	レベル3
表層	薄層遮水性舗装 t=5mm	m2		29	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻（無筋）	m3		0.5	レベル4
殻処分	コンクリート殻（無筋）	t		1.3	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
仮設足場工		式		1	レベル3
吊足場	朝顔両側設置	式		1	レベル4
環境対策設備設置工		式		1	レベル3
環境対策資機材費	負圧集塵機・真空クリーナ・エアシャワー 排気チューブ・吸気ダクト・セキリティールム	式		1	レベル4
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		24	レベル4
* * 直接工事費 * *					
技術管理費					
技術管理費		式		1	レベル2
技術管理費		式		1	レベル3

工事数量総括表

頁0 -0004

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
塗膜剥離試験	3種3回程度	式		1	レベル4
安全費					
安全費		式		1	レベル2
安全費		式		1	レベル3
呼吸用保護具等費用		式		1	レベル4
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

造賀東14号線1号橋 補修一般図 S=1:30

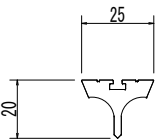


工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事			
図面名	補修一般図			
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 12	
工事箇所	東広島市高屋町造賀			
事業者名	東 広 島 市			

造賀東14号線1号橋 床版下面補修図

S=1:25

水切り断面形状
独立気泡スポンジ（EPDMゴム系）



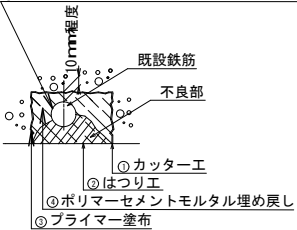
表面保護工

下地処理工(高圧洗浄、清掃)

ケイ酸塩系ナトリウム含浸材 1回目0.15kg/m²
ケイ酸塩系ナトリウム含浸材 2回目0.10kg/m²

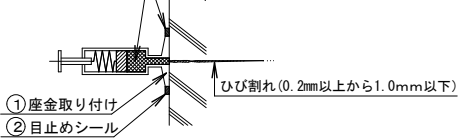
断面修復工
(左官工法)

d=5cm
① 錆び落とし後防錆ペースト塗布（無筋の場合不要）

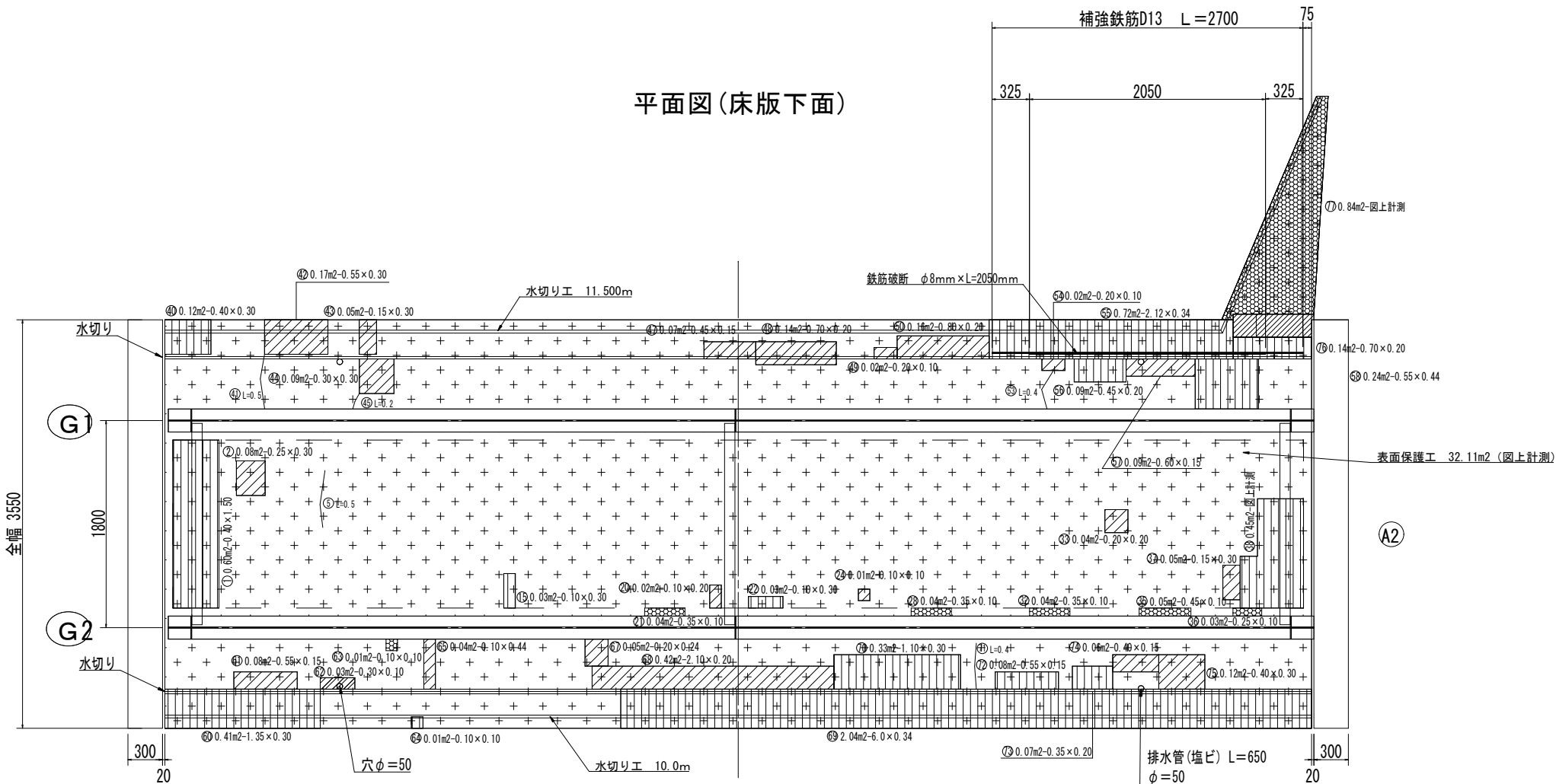


ひびわれ注入工

④ 硬化養生後下地処理
③ エポキシ樹脂系注入材(1種)

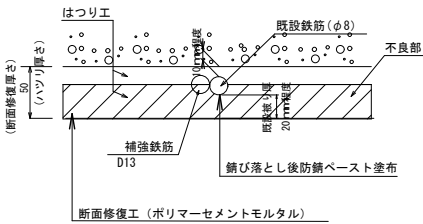


平面図(床版下面)



添え筋工

左官工法 d=5cm



鉄筋質量表

(SD345)

径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
D13	2700	1	0.995	2.69	3	

補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
ひびわれ(0.2~1.0mm) 図中の数値は長さ(m)を示す。	0.60	ひびわれ修復工
うき・剥離 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工
露筋・欠損 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工
可板 図中の数値は面積(m ²)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工
コンクリート表面劣化部		表面保護工
コンクリート表面漏水部		水切設置工
鉄筋破断		鉄筋補強工

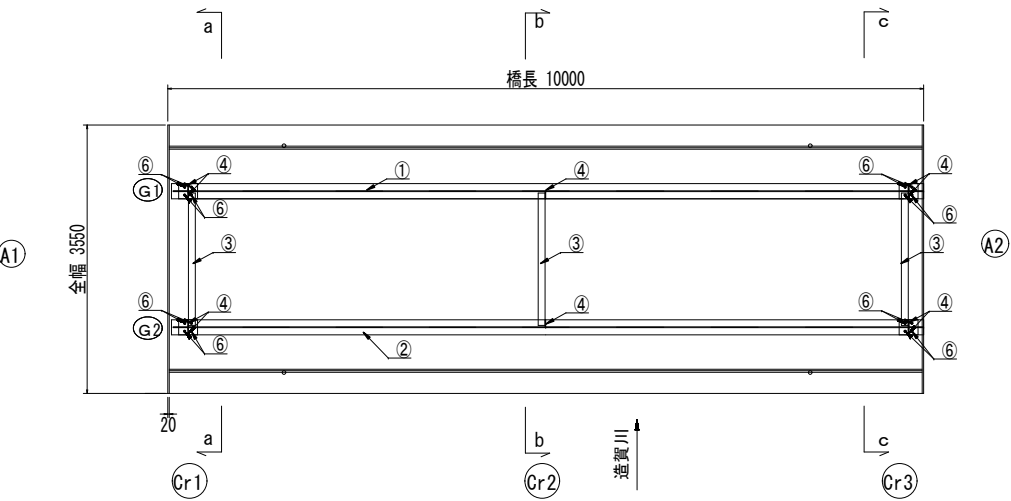
注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。

工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事		
図面名	床版下面補修図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東広島市		

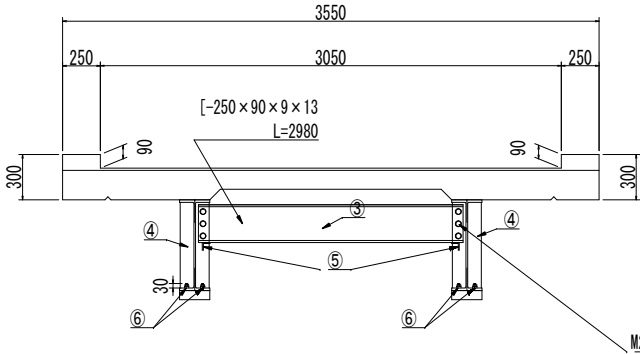
鋼材位置図

造賀東14号線1号橋 鋼部材塗膜図 S=1:50

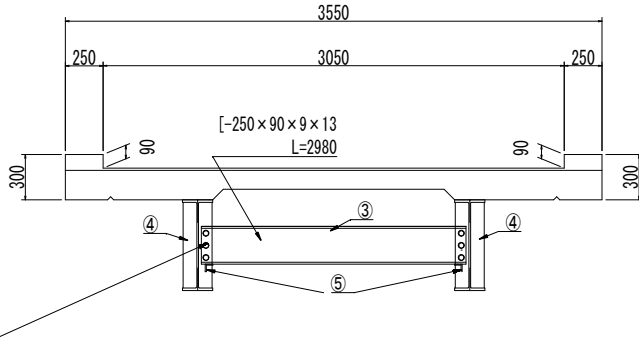
補修工法凡例		
損 傷	記 号	補修対策工法
防食機能の劣化		塗装塗替工 (2種ケルン相当)



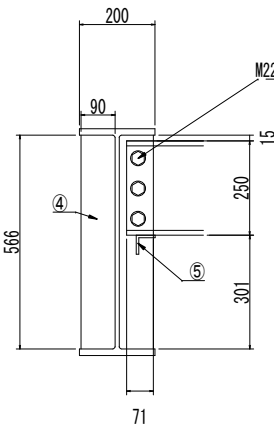
a-a断面図 (Cr1) S=1:25



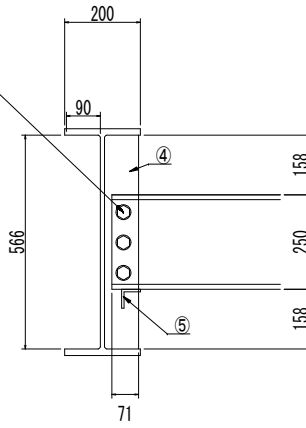
b-b断面図 (Cr2) S=1:25



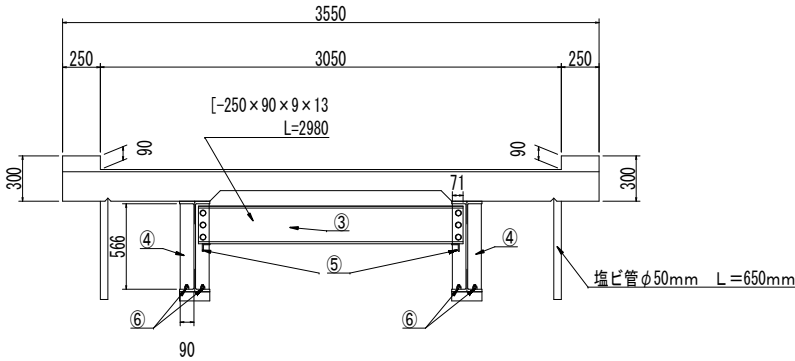
補剛材詳細図 S=1:5
SPvs (Cr1, Cr3)



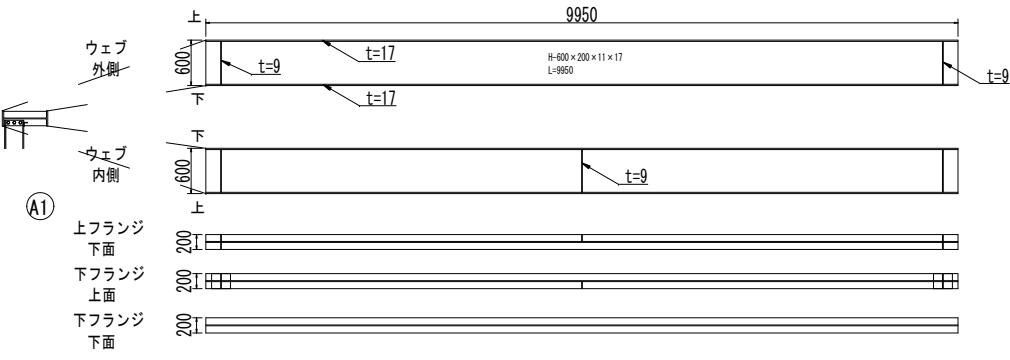
補剛材詳細図 S=1:5
SPvs (Cr2)



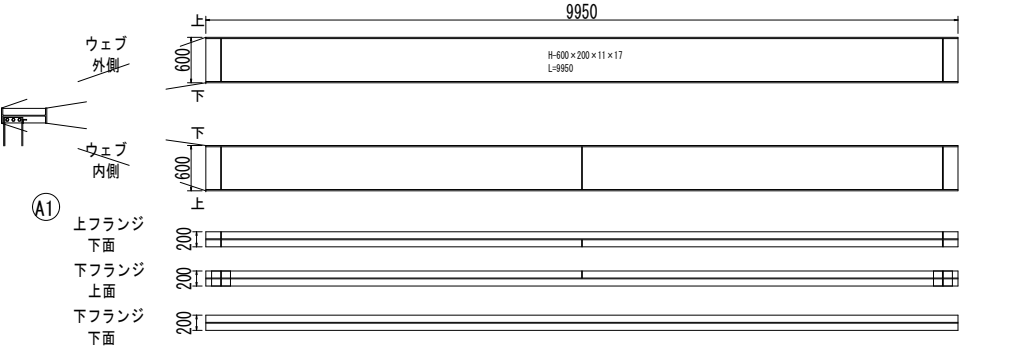
c-c断面図 (Cr3) S=1:25



G1主桁詳細図



G2主桁詳細図

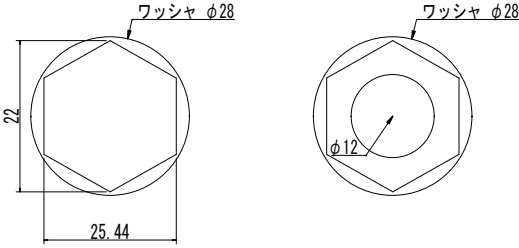


番 号	鋼材種別 (mm)	桁長 (mm)	本 数	箇 所
①	H-600×200×11×17	9950	1	主桁 (G1)
②	H-600×200×11×17	9950	1	主桁 (G2)
③	[-250×90×9×13	1750	3	横桁 (Cr1~Cr3)
④	H-566×90 (t=9)	-	10	補剛材 (Cr1~Cr3)
⑤	L-50×50 (t=7)	90	6	山形鋼
⑥	Φ12×30	-	16	支承 アンカーボルト

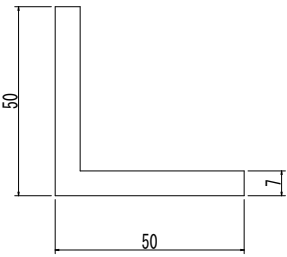
鋼部材 (桁・支承等) 塗装塗替工数量表		
部 位	計算式	面積m2
上部工+アンカーボルト	数量計算書	47.155
-) タッチ部	数量計算書	-) 4.191
合 計		42.964

ゴム支承 アンカーボルト補修工		
箇所	アンカーボルト・丸座金M22 欠損	六角ナット・ゆるみ
A1側	1	7
A2側	2	6
合 計	3	13

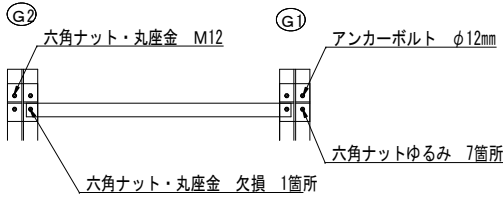
M22 高力ボルト (F9T)
(全箇所共通) S=1:5



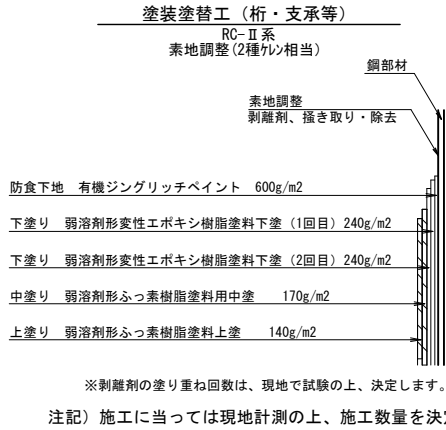
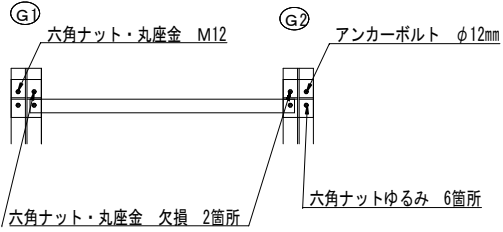
山形鋼 詳細図 S=1:5



A1側 ゴム支承 S=1:25



A2側 ゴム支承 S=1:25



工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事		
図面名	鋼部材塗膜図		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東 広 島 市		

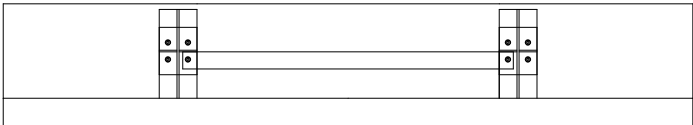
造賀東14号線1号橋

A 1橋台

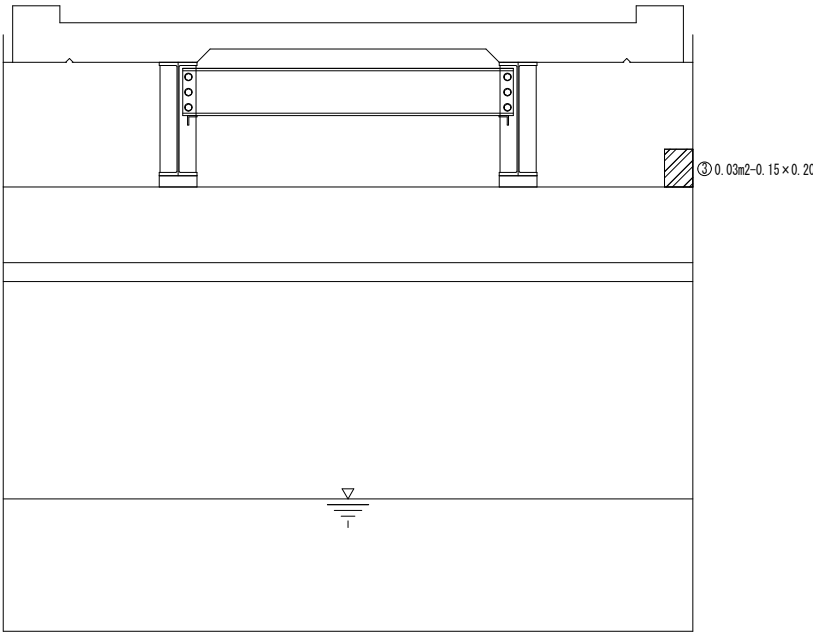
補修図

S=1:20

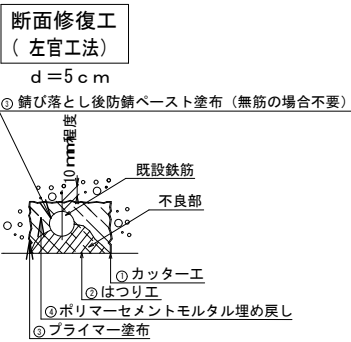
A 1沓座部 上面



A1橋台 正面図



造賀川



補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策工法
宥形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	 0.00m2-0.40×0.20	ひびわれ修復工
豆 板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	 0.00m2-0.40×0.20	断面修復工

工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事		
図面名	A 1橋台 補修図		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東 広 島 市		

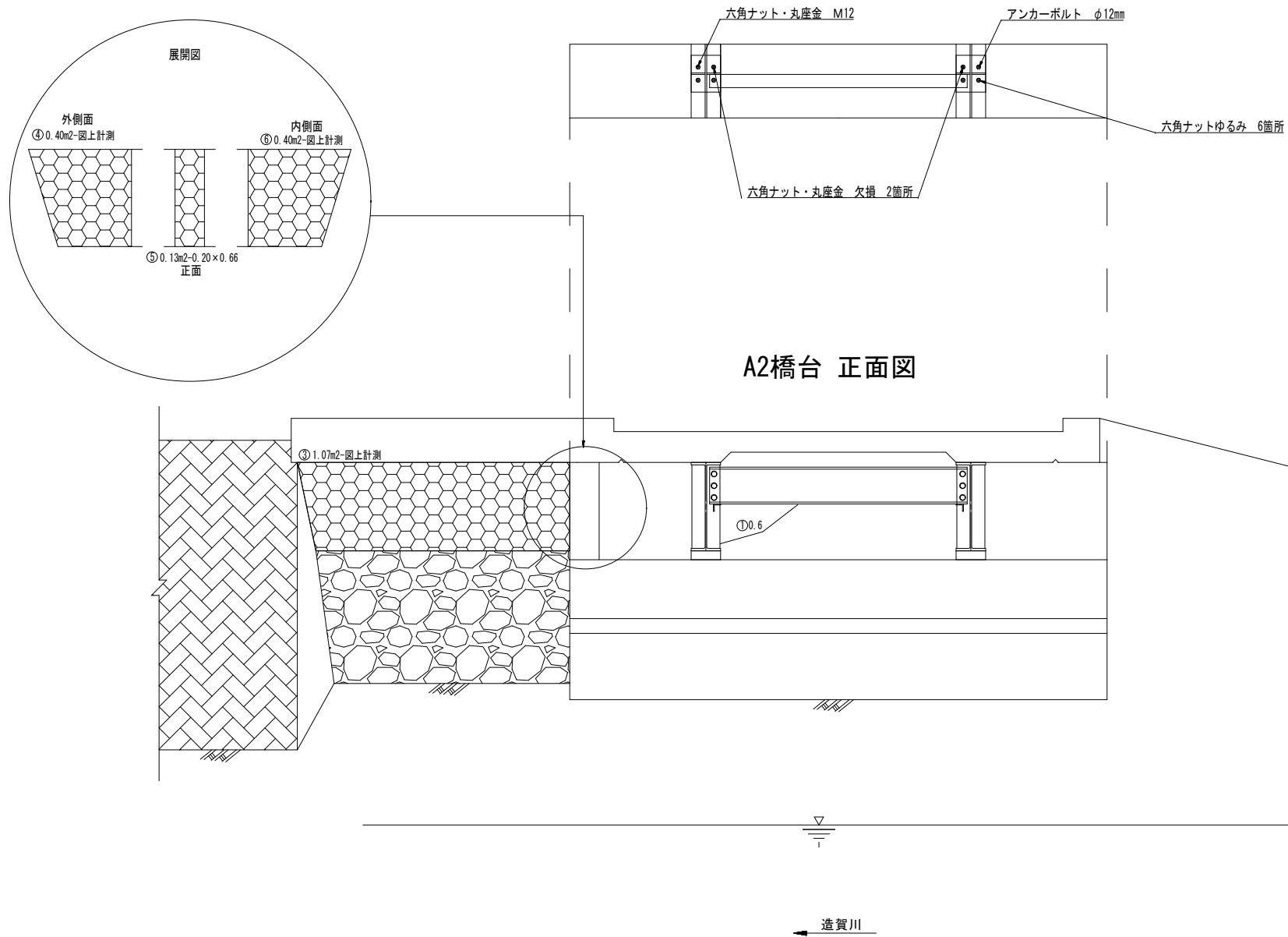
造賀東14号線1号橋

A2橋台

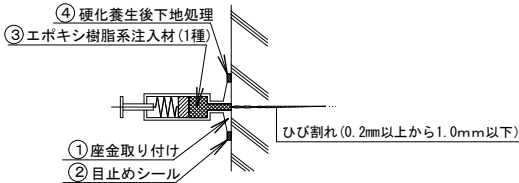
補修図

S=1:20

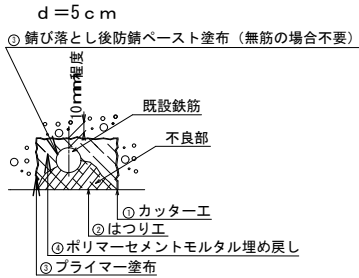
A2沓座部 上面



ひびわれ注入工



断面修復工
(左官工法)

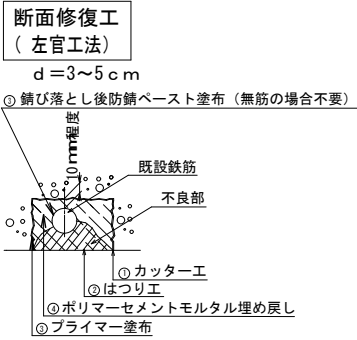


補修工法凡例

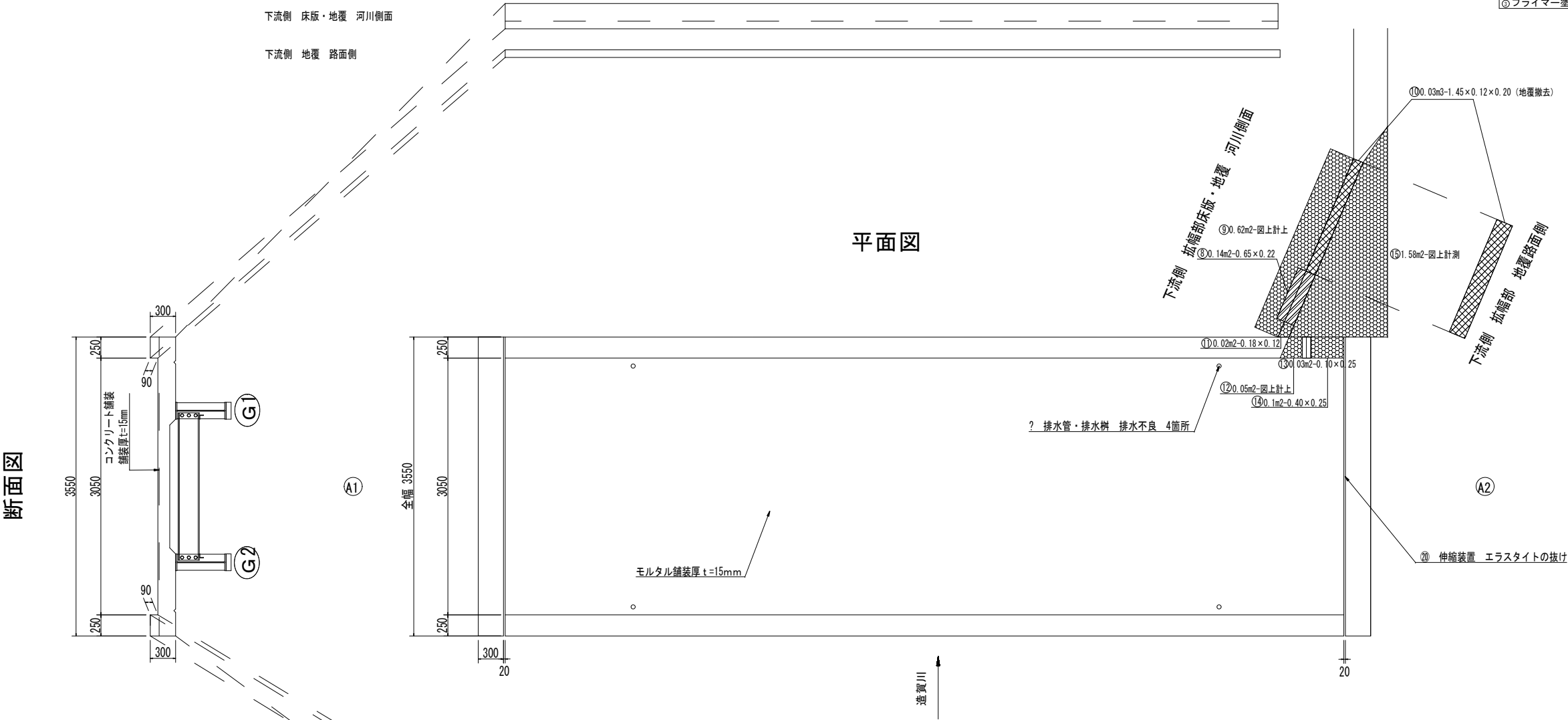
損傷	記号	補修対策工法
ひびわれ (0.2~1.0mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。	0.60	ひびわれ修復工
豆板 図中の数値は面積 (m2) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工

工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事		
図面名	A2橋台 補修図		
縮尺	図示	図面番号	5 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東広島市		

造賀東14号線1号橋 路面 床版側面 地覆 補修図（その1） S=1:30



下流側 床版側面 地覆展開図



上流側 床版側面 地覆展開図

補修工法凡例

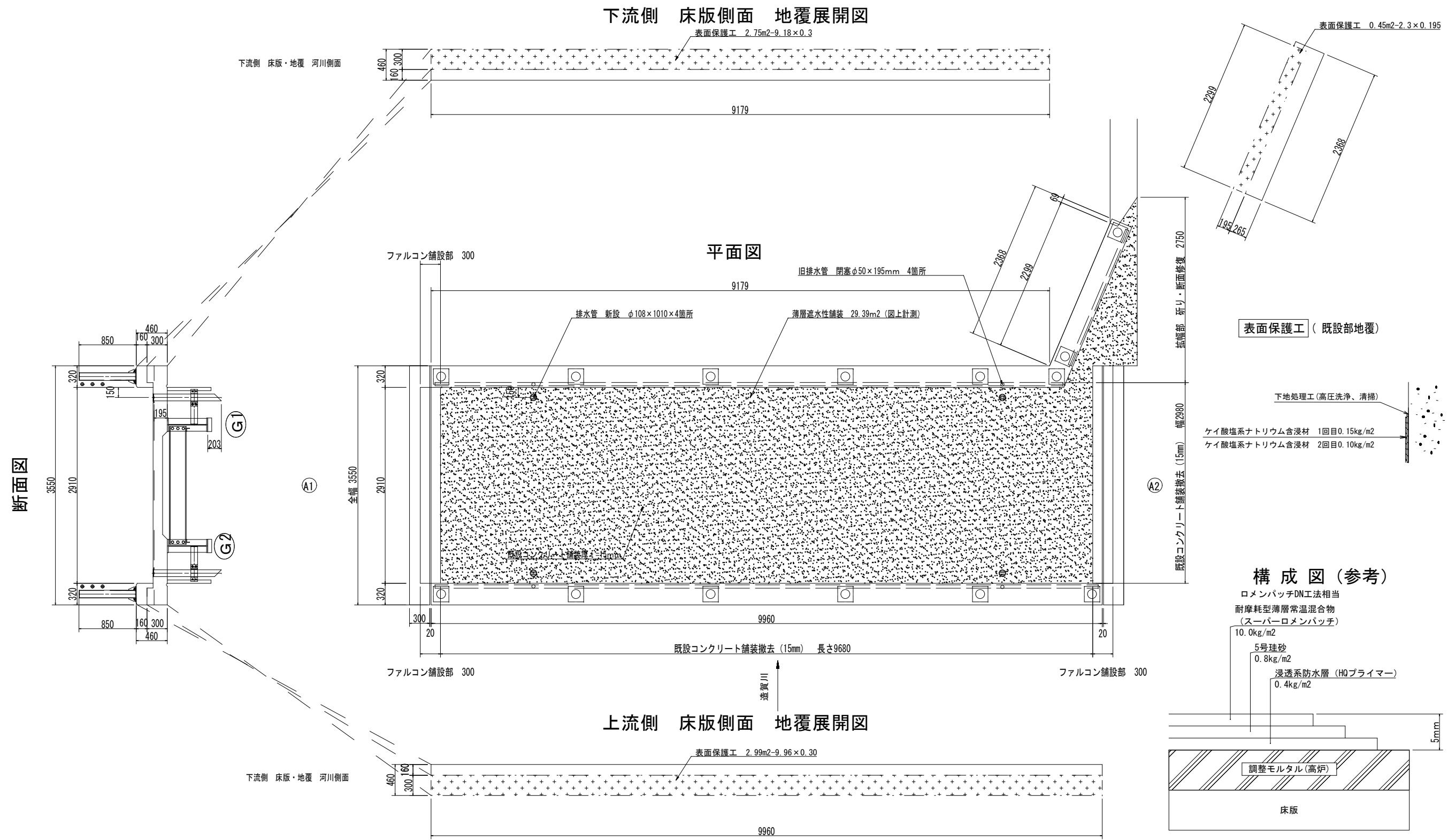
鉄筋露出 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。		断面修復工
地覆撤去箇所 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。		地覆撤去工
変形・欠損 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。		断面修復工
豆板 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。		断面修復工

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。
拡幅部補修・地覆撤去後に舗装打替え工・地覆嵩上げ工を行う

工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事		
図面名	路面・床版側面・地覆損傷図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	6 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東 広 島 市		

造賀東14号線1号橋 路面・床版側面・地覆補修図（その2） S=1:30

下流側拡幅部 床版側面 地覆展開図



補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策工法
コンクリート舗装部		薄層遮水性舗装工
コンクリート表面劣化部		表面保護工

数量表 (橋面補修工)

工 種	規格・仕様	単位	算 式	数 量	備 考
舗装復旧工	薄層遮水性舗装舗装 (t=5mm)	m ²	29.39 (図上計測)	29.39	
	調整モルタル (高炉1:3) (t=10mm想定)	m ³	28.85×0.010	0.29	
構造物撤去工	コンクリート舗装撤去面積	m ²	9.680×2.980	28.85	
	コンクリート舗装撤去 (t=15mm)	m ³	28.85×0.015	0.43	
	コンクリート搬運搬・処分	t	0.43×2.30 t/m ³	0.99	

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。

地覆嵩上げ部分は表面保護工を行わない (既設部のみ)

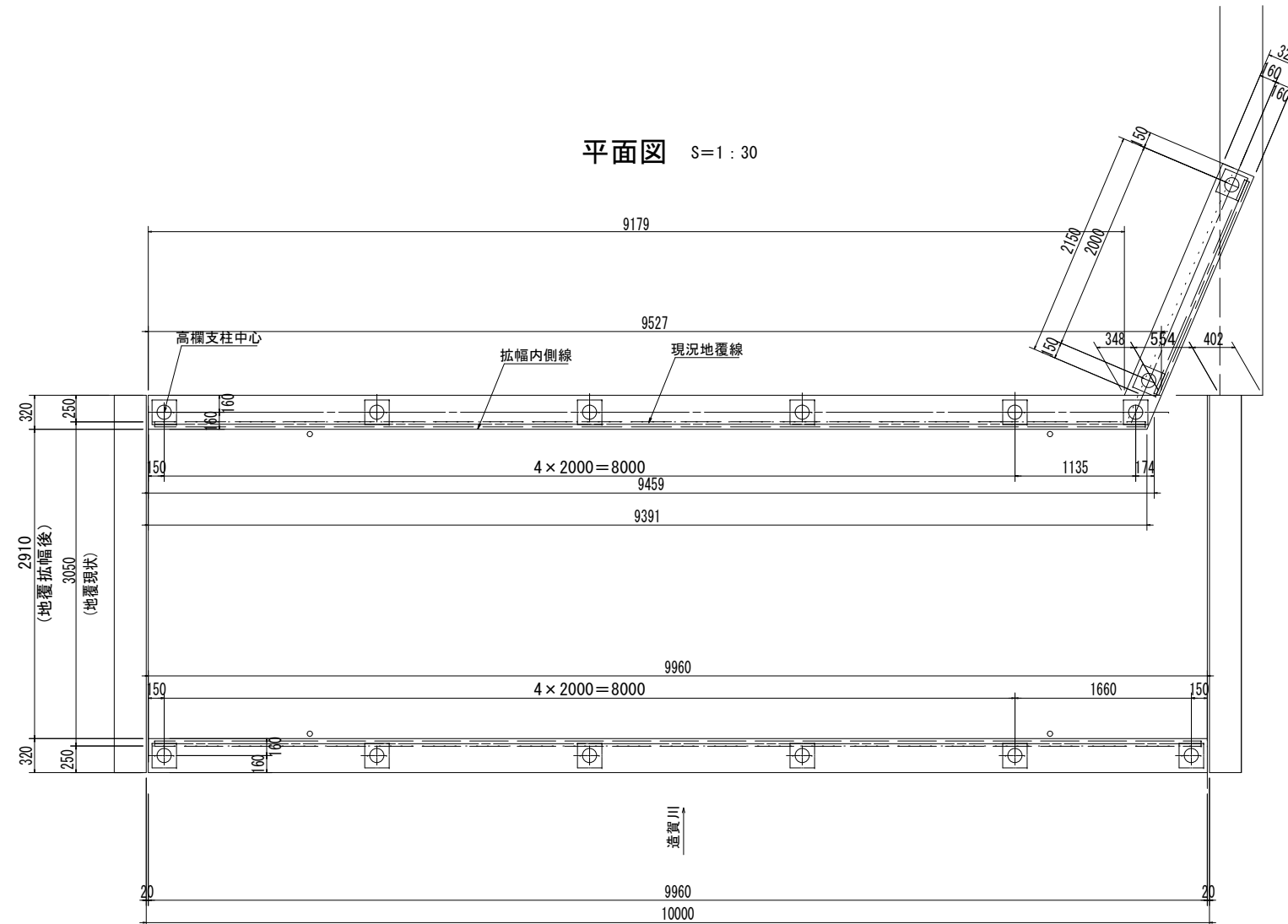
路面断面修復・地覆嵩上げ後に薄層遮水性舗装の施工を行う

工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事		
図面名	路面・床版側面・地覆損傷図 (その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	7 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東 広 島 市		

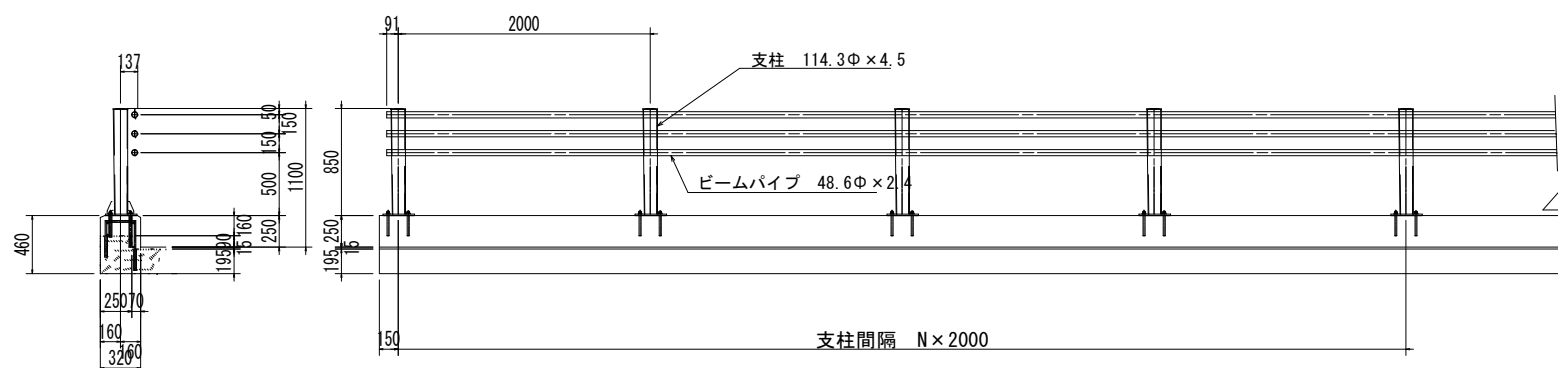
造賀東14号線1号橋 地覆形状・高欄割付図 S=1:30

S=1 : 30

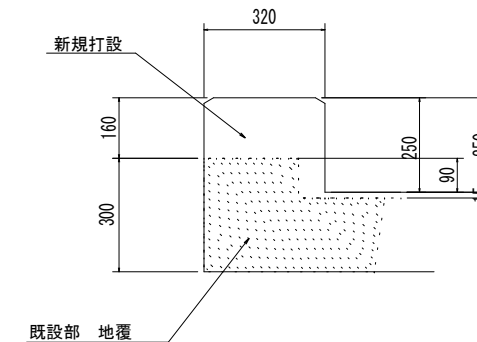
平面图 S=1 : 30



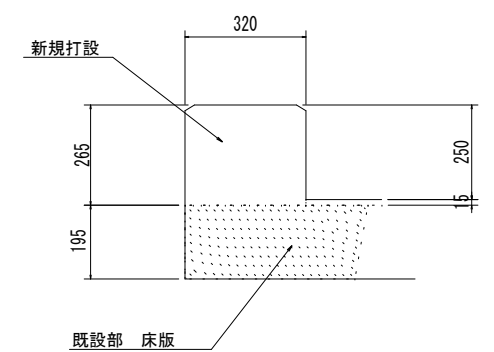
高 欄 S=1 : 30
種別 C タイプ



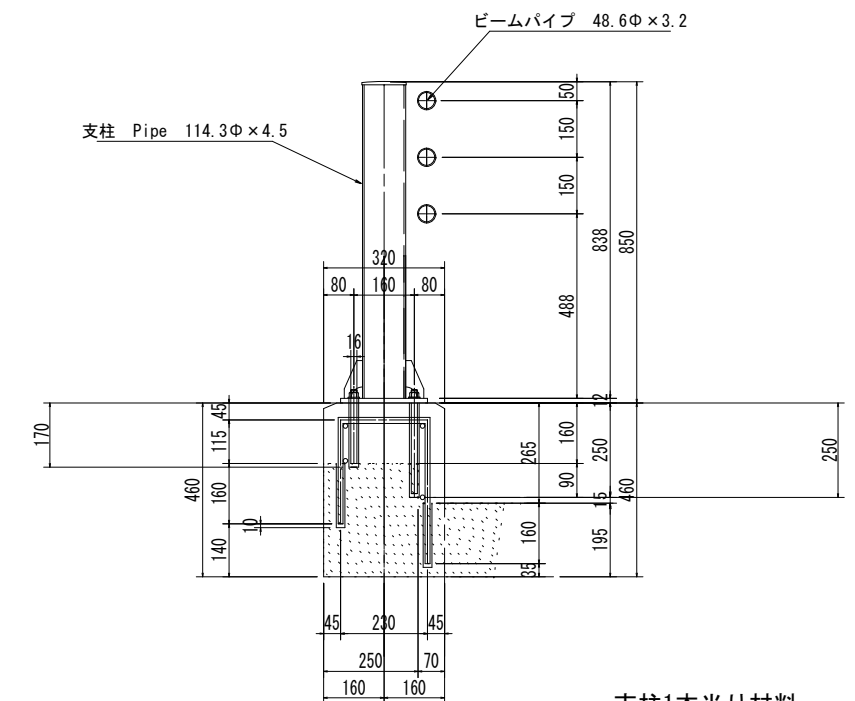
嵩上げ 断面図 S=1:10



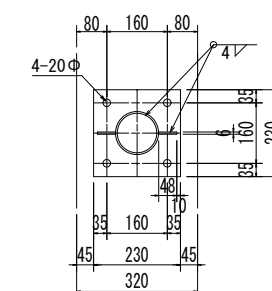
拡幅部 嵩上げ 断面図 S=1:10



種別 C 種 S=1:10



ベース PL



支柱1本当り材料
 1-Pipe 114.3φ×4.5×838
 1-PL 230×12×230 (SM400A)
 2-Rob PL 48×6×100 (SM400A)
 2-Anc. B. N. W M16×280
 2- " M16×200

アンカーボルト削孔 2-26Φ×250
" 2-26Φ×170

工事名	造賀東14号線1号橋樑梁補修工事		
図面名	地覆形状・高欄割付図		
縮 尺	図 示	図面番号	8 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東 広 島 市		

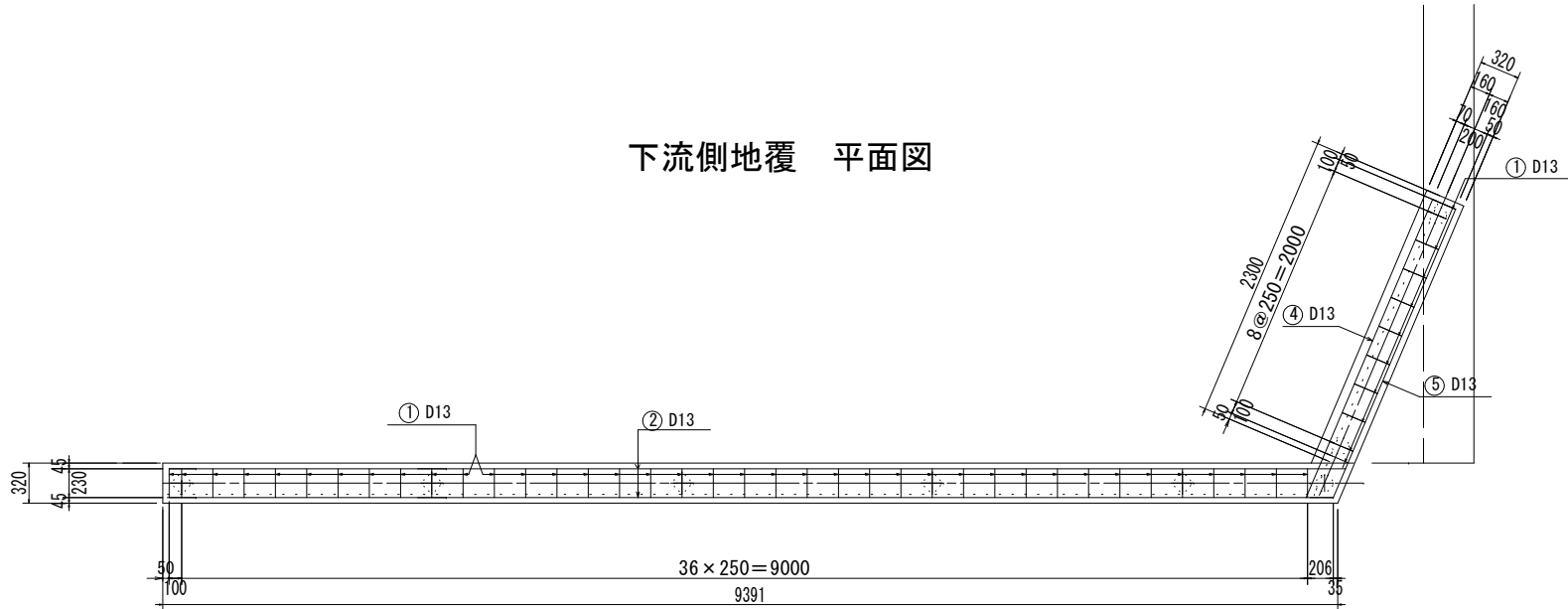
注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。

造賀東14号線1号橋 地覆配筋図

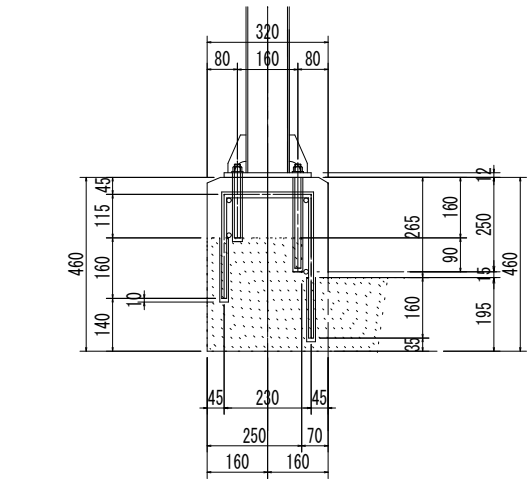
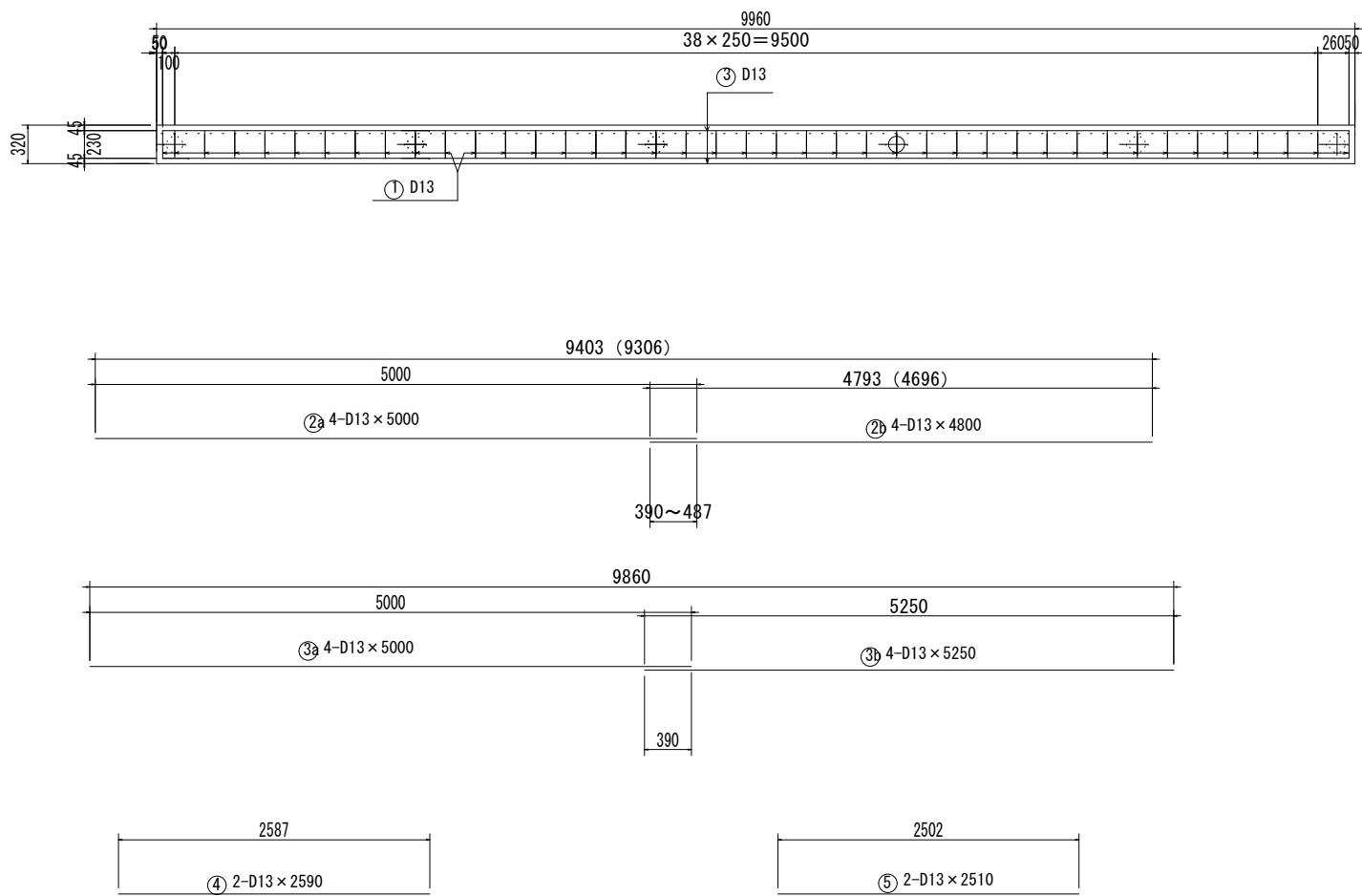
S=1 : 30

断面図 S=1:10

下流側地覆 平面図



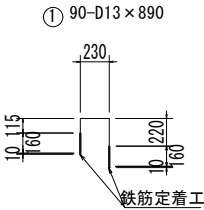
上流側地覆 平面図



鉄筋材料表

(材質 SD345)

符号	径	本数	長さ	単位当り質量	1本質量	質量	摘 要
①	D13	90	890	0.995	0.886	80	□
②a	D13	4	5000	0.995	4.98	20	—
②b	D13	4	4800	0.995	4.78	19	—
③a	D13	4	5000	0.995	4.98	20	—
③b	D13	4	5250	0.995	5.22	21	—
④	D13	2	2590	0.995	2.58	5	—
⑤	D13	2	2510	0.995	2.50	5	—
					Σ =	170	kg
その他 数量							
コンクリート体積 V =1.115m ³							
型枠面積 A=3.982m ²							
コンクリート削孔 26Φ×250 28本、26Φ×170 28本（高欄アンカー）							
無収縮モルタル注入体積 V= 0.00475m ³							
コンクリート削孔 23Φ×170 N=180本							
無収縮モルタル注入体積 V= 0.00889m ³							



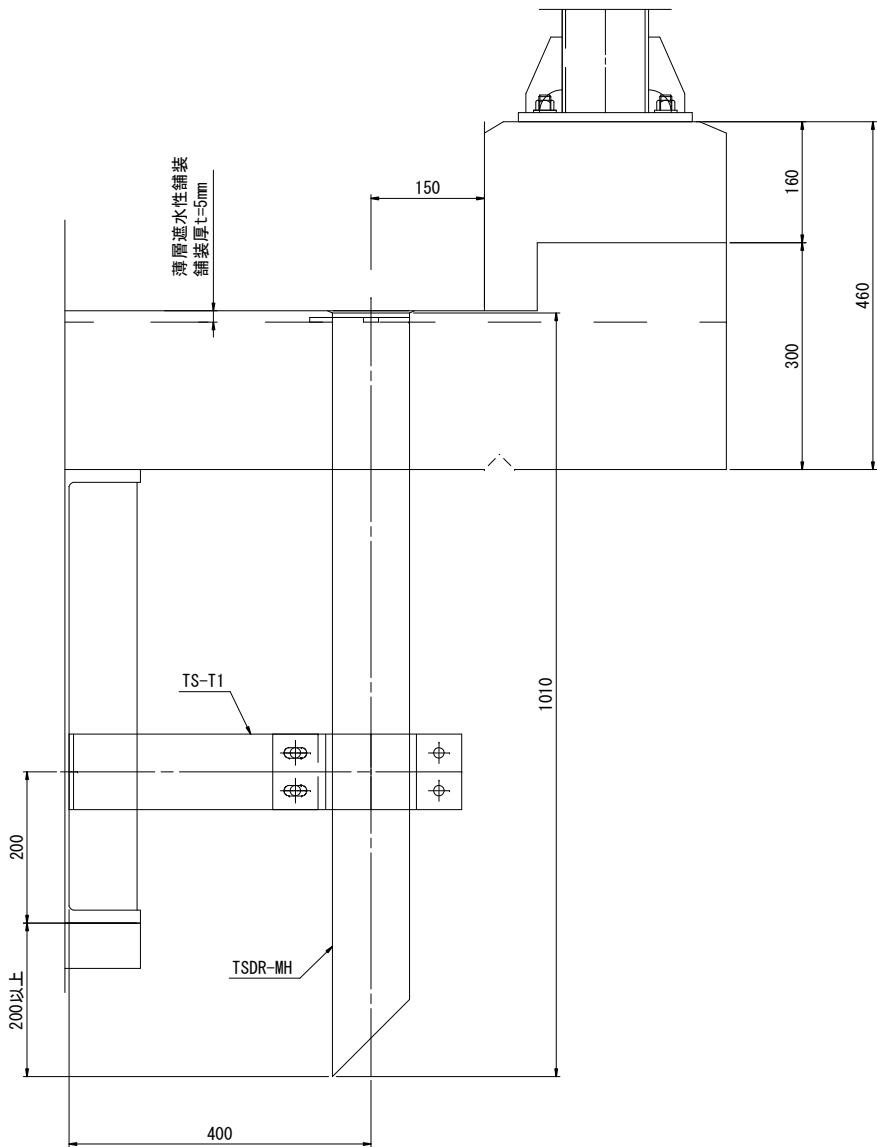
工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事		
図面名	地覆配筋図		
縮 尺	図 示	図面番号	9 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東 広 島 市		

造賀東14号線1号橋 排水管補修詳細図

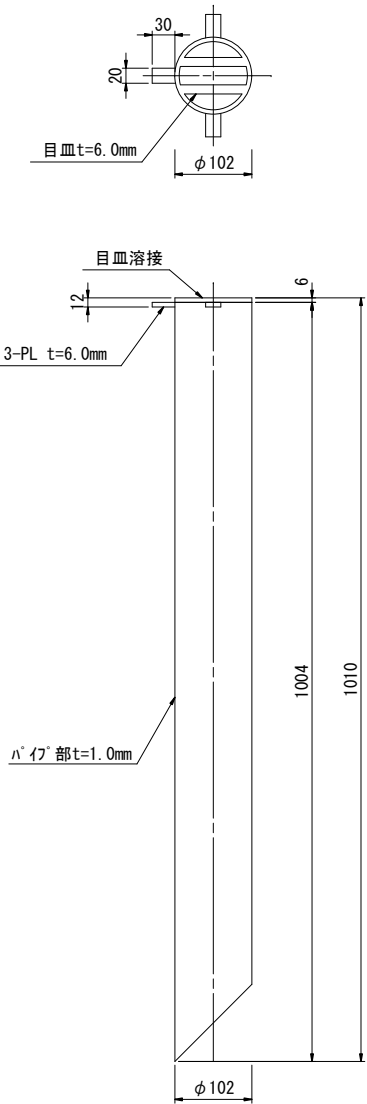
S=1:5 (参考)

TSステンレス排水装置 (NETIS:CB-190003-A)

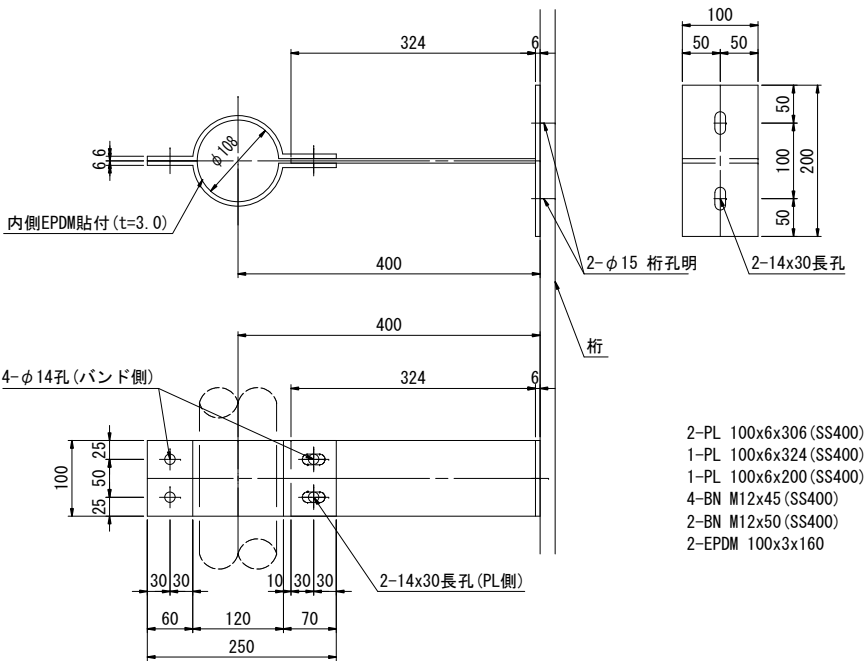
断面図



TSステンレス排水柵詳細図
床版貫通型(全ねじタイプ)
TSDR-MH
製作数=4



取付金具詳細図
TS-T1
製作数=4

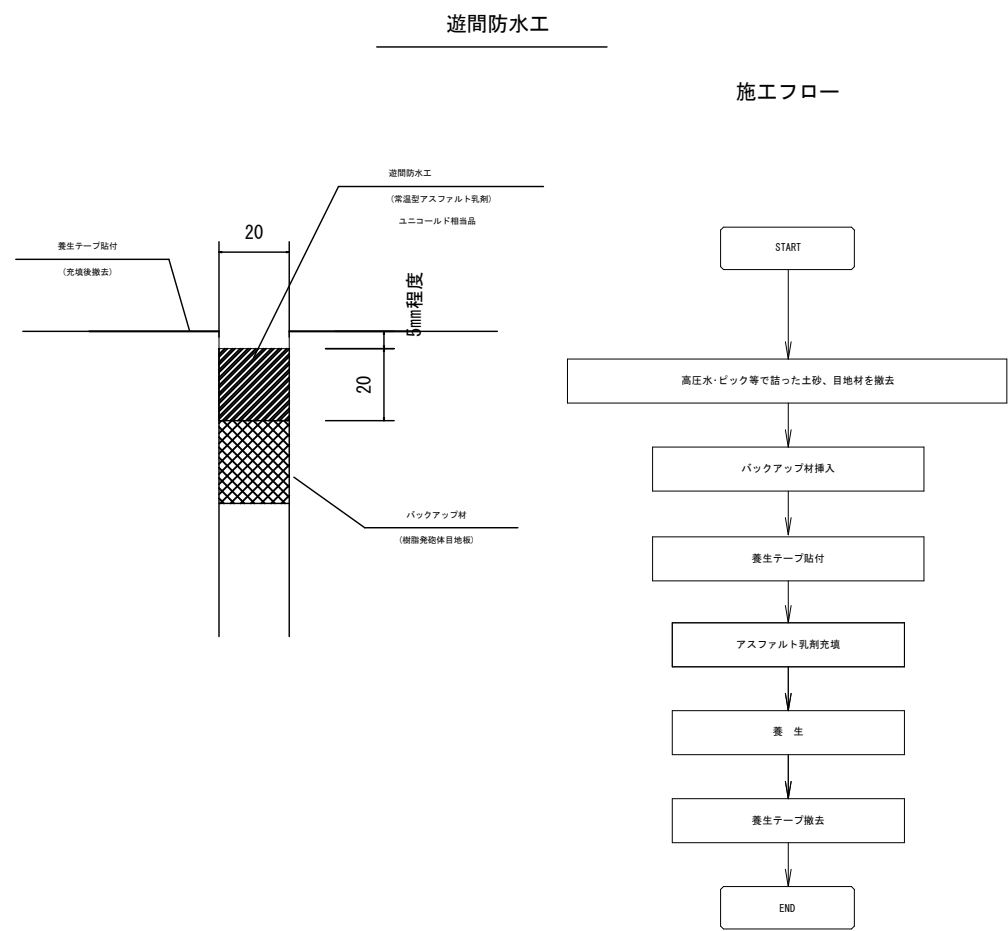


- 2-PL 100x6x306 (SS400)
- 1-PL 100x6x324 (SS400)
- 1-PL 100x6x200 (SS400)
- 4-BN M12x45 (SS400)
- 2-BN M12x50 (SS400)
- 2-EPDM 100x3x160

注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はTSステンレス排水装置に準ずる。
3. SS400は全て溶融亜鉛メッキ
(特記なき場合は JIS H 8641 HDZT77)
仕上げを行う。但し、ボルト類はHDZT49とする。
4. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し
耐食性向上の措置を講じる。
5. 現地調査にて寸法確定後製作する。

工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事		
図面名	排水管補修詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	10 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東 広 島 市		

造賀東14号線1号橋 伸縮装置補修工

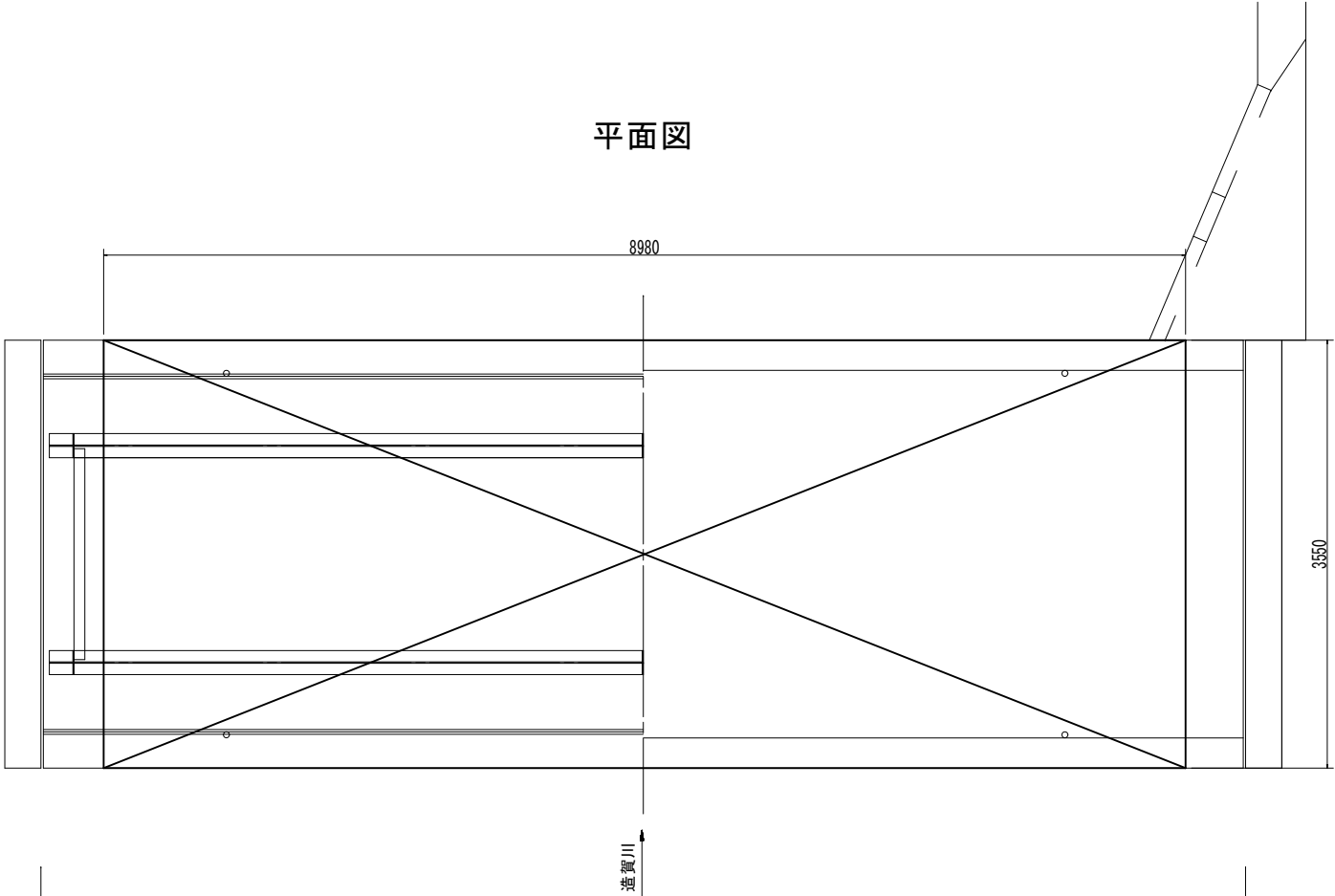


工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事		
図面名	伸縮装置補修		
縮 尺	図 示	図面番号	11 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東 広 島 市		

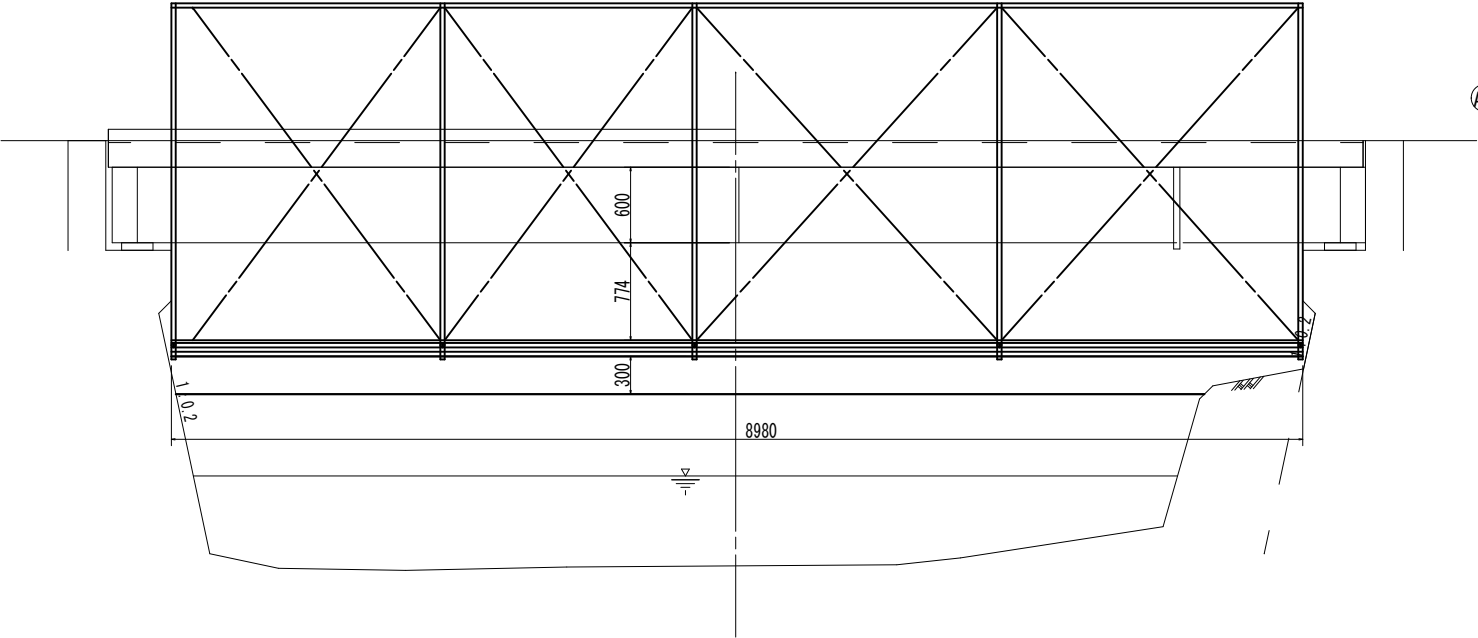
足場仮設図(参考図)

S=1:30

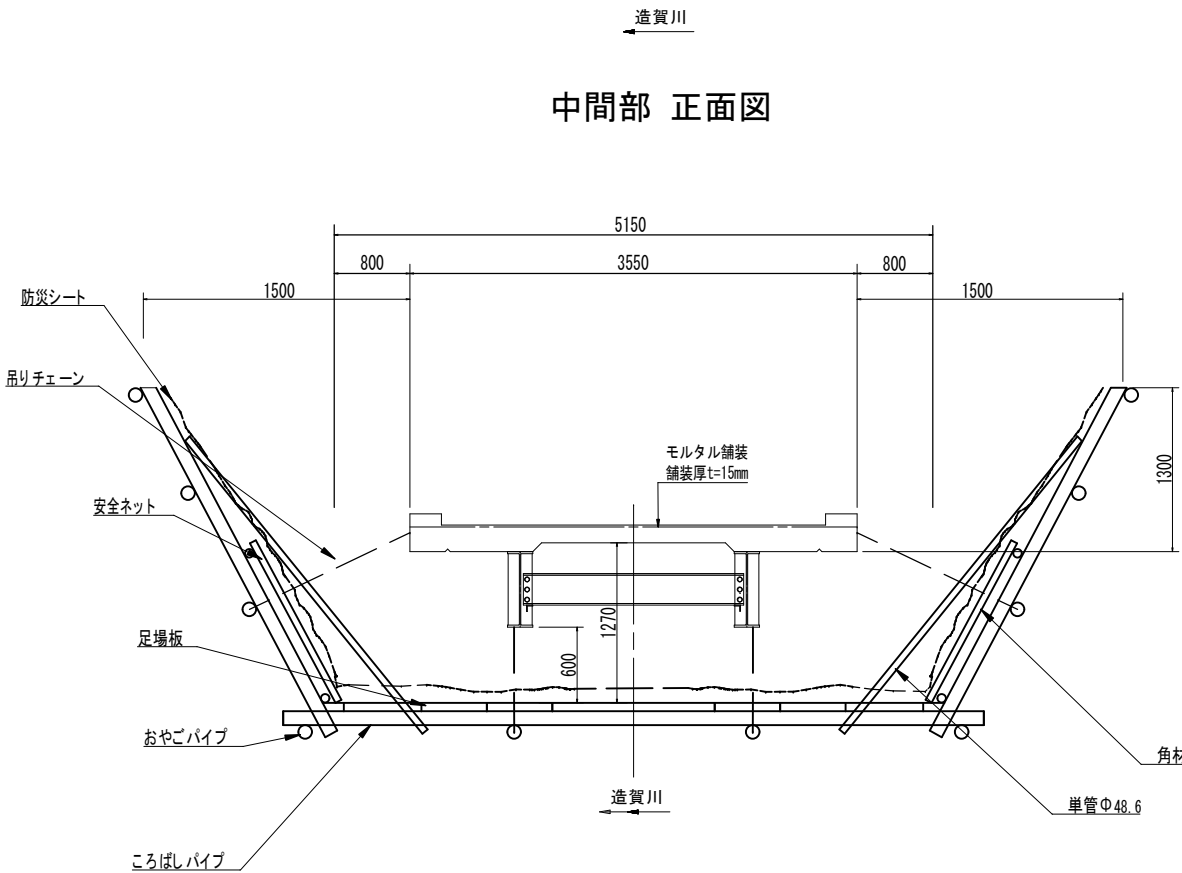
平面図



側面図



中間部 正面図



吊足場 数量表

名 称	計 算 式	面 積
吊足場	8.98×5.15	46.25 m ²

工事名	造賀東14号線1号橋橋梁補修工事		
図面名	足場仮設図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	12 / 12
工事箇所	東広島市高屋町造賀		
事業者名	東 広 島 市		

参 考 図 書

工事名称 ： 令和 8 年度 橋梁長期保全事業
造賀東 14 号線 1 号橋橋梁補修工事

＜注意事項＞

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束を
するものではありません。
- 3 その他
 - ・当該工事により発生する Co 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬
出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種 別	施設の名称	所在地	運搬距離
Co 殻（無筋）	光陽産業(株)豊栄工場	東広島市豊栄町乃美 1882-1	9.9km

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-08.06.01(0)	凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
橋梁地覆補修工	1	式			Y1G032401 レベル3
コンクリート 24N	1	式			Y1G03240103 レベル4
コンクリート_橋梁地覆補修 24-12-25(20)BB 養生工有り	1	m3			SPK25040336 00
鉄筋 SD345 D13	0.2	t			単第0 -0001 表 Y1G03240102 レベル4
鉄筋 SD345 D13	0.2	t			SPK25040335 00
コンクリート削孔 削孔長170mm 無収縮モルタル	180	本			単第0 -0002 表 Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	180	孔			SPK25040114 00 単第0 -0003 表
無収縮モルタル	0.009	m3			F0000000030 00
支承取替・主桁取替補修工	1	式			Y1G032402 レベル3
ゴム支承・アンカーボルト補修工	16	箇所			Y4999 レベル4
本締め工	16	本			S3110 00 単第0 -0004 表
六角ナット 黒皮,M22 冷間ホーマー	3	個			TH002530 00
丸座金 黒皮,M22	3	枚			TH002554 00
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 L=2.6m	1	構造物			Y1G03240402 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0005 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 V=0.39m3 鉄筋ケレン・防錆有	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.39m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0006 表
左官工法 V=0.15m3 鉄筋ケレン・防錆無	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.15m3	1	構造物			S1020045 00 単第0 -0007 表
鉄筋 SD345 D13	0.003	t			Y1G03240102 レベル4
鉄筋工 SD345 D13 一般構造物 [規]10t未満	0.003	t			SS000099 00 単第0 -0008 表
表面保護工	1	式			Y3999 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
下地処理工 高圧洗浄	38	m2			Y4999 レベル4
下地処理工 高圧洗浄	38	m2			V0000000010 00 単第0 -0009 表
含浸材塗布工 ケイ酸塩系ナトリウム含浸材	38	m2			Y4999 レベル4
表面含浸工 ケイ酸塩系ナトリウム含浸材 スーパーシールド工法相当品	38	m2			V0000000011 00 単第0 -0010 表
橋梁付属物工	1	式			Y3999 レベル3
水切工	22	m			Y4999 レベル4
水切設置工 EPDMスポンジ	22	m			V0000000003 00 単第0 -0011 表
伸縮装置補修工	6.1	m			Y4999 レベル4
伸縮装置補修工	6.1	m			V0000000060 00 単第0 -0012 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
バックアップ材 樹脂発泡体（t=10mm）30倍	0.1	m2			F000002300 00
排水管設置 TSステンレス排水装置 床版貫通型（全ねじタイプ）TSDR-MH	4	箇所			Y4999 レベル4 取付金具TS-T1
排水装置設置工 TSステンレス排水装置	4	箇所			V0000000007 00 単第0 -0013 表
塗装塗替工	1	式			Y3999 レベル3
塗膜除去工 塗布回数2回	89	m2			Y4999 レベル4
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去工 時間的制約なし	89	m2			V0000000004 00 単第0 -0014 表
廃材回収・積込 剥離剤及び塗膜かす回収・積込工	89	m2			Y4999 レベル4
廃材回収・積込 剥離剤及び塗膜かす回収・積込工	89	m2			F0000000038 00
ペール缶 UN-20L	16	缶			F0000010000 00

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜除去養生設備・シート設置除去 2回分	93	m2			Y4999 レベル4
塗膜除去養生設備・シート設置除去	93	m2			V0000000006 00
塗膜くず等収集運搬	1	式			単第0 -0015 表 Y4999 レベル4
塗膜くず等収集運搬費 ツネイシカムテックス株式会社 3t	1	式			F0000000039 00
塗膜くず等処分費	248	kg			Y4999 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
塗膜くず処分費 ツネイシカムテックス株式会社 塗膜くず	68	kg			F0000000040 00
塗膜くず処分費 ツネイシカムテックス株式会社 廃プラスチック類	180	kg			F0000000041 00
塗装塗替工 清掃・水洗	45	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 清掃・水洗い	45	m2			SDT00029 00 単第0 -0016 表
塗装塗替工 素地調整 2種ケレン	45	m2			Y4999 レベル4
塗替塗装 素地調整 2種ケレン	45	m2			SDT00029 00 単第0 -0017 表
塗替塗装 研削材及びケレンかす回収・積込工	45	m2			SDT00029 00 単第0 -0018 表
塗装塗布工 防食下地（2回塗り/層） 有機ジンクリッチペイント	45	m2			Y4999 レベル4
塗替塗装 下塗り塗装 有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）	45	m2			SDT00029 00 単第0 -0019 表
塗装塗布工 下塗り塗装 弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料（2層）	45	m2			Y4999 レベル4
塗替塗装 下塗り塗装 弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料（2層）	45	m2			SDT00029 00 単第0 -0020 表
塗装塗布工 中塗り塗装 淡彩 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	45	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 中塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	45	m2			SDT00029 00 単第0 -0021 表
塗装塗布工 上塗塗装 淡彩 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	45	m2			Y4999 レベル4
塗替塗装 上塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	45	m2			SDT00029 00 単第0 -0022 表
防護柵設置工	1	式			Y3999 レベル3
ベースプレート式ガードパイプ C種	21	m			Y4999 レベル4
防護柵設置工 Gp - Bp - 2B (ベースプレート式)	21	m			V000000100 00 単第0 -0023 表
橋面工	1	式			Y2999 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
表層 薄層遮水性舗装 t=5mm	29	m2			Y1G03040211 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
薄層舗装修繕工 ロメンパッチDN工法相当	29	m2			V0000000008 00 単第0 -0025 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 コンクリート殻（無筋）	0.5	m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し 運搬距離10.5km以下(9.0km超)	0.5	m3			SPK25040155 00 単第0 -0026 表
殻処分 コンクリート殻（無筋）	1.3	t			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻（無筋）処分費 光陽産業（株）豊栄工場	1.3	t			F0000000060 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設足場工					Y3999 レベル3
	1	式			
吊足場 朝顔両側設置					Y4999 レベル4
	1	式			
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満					S3030011 00
	50	m2			単第0 -0027 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔					S3030013 00
	50	m2			単第0 -0028 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	50	m2			単第0 -0029 表
環境対策設備設置工					Y3999 レベル3
	1	式			
環境対策資機材費 負圧集塵機・真空クリーナ・エアシャワー 排気チューブ・吸気ダクト・セキリフィルム					Y4999 レベル4
	1	式			
負圧集塵装置					F0000000100 00
	1	台・月			
負圧集塵装置用1次フィルター					F0000000101 00
	4	枚			

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
負圧集塵装置用2次フィルター	1	枚			F0000000102 00
負圧集塵装置用HEPAフィルター	1	枚			F0000000103 00
吸気用ダクト	1	本			F0000000104 00
排気用ダクト	1	本			F0000000105 00
真空掃除機	1	台・月			F0000000106 00
真空掃除機用（ダストパック）	4	枚			F0000000107 00
真空掃除機用HEPAフィルター	1	枚			F0000000109 00
簡易セキュリティールーム	1	台			F0000000110 00
エアシャワー	1	台・月			F0000000111 00

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
エアシャワー用1次フィルター	1	枚			F0000000112 00
エアシャワー用HEPAフィルター	1	枚			F0000000113 00
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員	24	人			Y1G03282101レベル4
交通誘導警備員B	24	人			R0369 00
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜剥離試験 3種3回程度	1	式			YZZ06001006 レベル4
塗膜剥離試験	9	回			F0000001006 00
安全費					Z0009
安全費	1	式			YZZ09 レベル2
安全費	1	式			YZZ09001 レベル3
呼吸用保護具等費用	1	式			YZZ09001002 レベル4
電動ファン付き呼吸用保護具	6	個			F0000000114 00
呼吸用保護具用フィルター	48	個			F0000000115 00
Sy185-H用カバーグラス	12	枚			F000000700 00

本工事費 内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
使い捨て化学防護服					F0000000116 00
	96	着			
防護手袋					F0000000117 00
	96	双			
シューズカバー					F0000000118 00
	96	個			
廃棄袋 大 0.15×850×1280					F000000800 00
	13	枚			
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

頁0 -0017

コンクリート_橋梁地覆補修

SPK25040336

単第0 -0001 表

24-12-25(20)BB

養生工有り

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 69.23% 材料構成比: 30.77% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 69,610.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	24.47%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
型わく工	24.13%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
土木一般世話役	8.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	4.87%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランブ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	30.77%		生コンクリート 普通 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00342
積算単価			積算単価		E9999
A=2 24-12-25(20)BB D=2 小型車割増有			C=1 養生工有り E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0018

鉄筋
SD345 D13

SPK25040335

単第0 -0002 表

1
t 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 69.62%

材料構成比: 30.38%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 406,140.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
鉄筋工	39.58%		鉄筋工		RTPC00018 RTPT00018
普通作業員	18.76%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	30.38%		鉄筋コンクリート用棒鋼 SD345 D13		TTPC00001 TTPT00001
積算単価			積算単価		EP001
A=4 SD345 D13			B=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0019

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

単第0 -0003 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15% 労務構成比: 95.53% 材料構成比: 2.32% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 684.28000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.03%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm	0.72%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.89%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0020

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

單第0 -0003 表

削孔深さ30mm以上200mm未満

1

孔 当り

機械構成比: 2.15% 労務構成比: 95.53%

材料構成比: 2.32%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

684.28000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

本締め工

S3110

單第0 -0004 表

100

本 当り

[illegible]

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0005 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
ひび割れ注入材 エポキシ樹脂系 1種 シーカデュアEP-300相当品	0.310	kg			
ひび割れシール材 エポキシ樹脂系 アサヒボンド551相当品	0.849	kg			
低圧注入器	11.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=3 【F】低圧注入器具(個)			B=0.31 注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.62 シール材の設計数量(kg/構造物) F=11 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		

施工単価表

頁0 -0023

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積0.39m3

單第0 -0006 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	10.920	人			
特殊作業員	20.670	人			
普通作業員	10.920	人			
断面修復材 ポリマーセメントモルタル 左官工法用	0.460	m3			
諸雑費	8	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.39 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.39 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=4	【F】断面修復材(m3)	

施工単価表

頁0 -0024

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

S1020045

修復延べ体積0.15m3

單第0 -0007 表

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.600	人			
特殊作業員	6.750	人			
普通作業員	3.450	人			
断面修復材 ポリマーセメントモルタル 左官工法用	0.177	m3			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.15 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.15 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=4	【F】断面修復材(m3)	

施工単価表

頁0 -0025

鉄筋工
SD345 D13

SS000099

單第0 -0008 表

一般構造物 [規]10t未滿

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

下地処理工
高圧洗浄

V0000000010

単第0 -0009 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	0.5	人			
高圧水洗機	1.0	m2			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	11.9	L			
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

表面含浸工

V0000000011

単第0 -0010 表

ケイ酸塩系ナトリウム含浸材

スーパーシールド工法相当品

100

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.5	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.5	人			
けい酸塩系表面含浸材 スーパーシールド相当	28.8	L			
塗布量確認材 スーパーシールド相当	1	セット			
機械費 スーパーシールド工法 噴霧器、給水タンク、発電機	1	式			
諸雑費	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0028

水切設置工 EPDMスポンジ

V0000000003

單第0 -0011 表

100 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

伸縮装置補修工

V0000000060

單第0 -0012 表

10

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

排水装置設置工
TSステンレス排水装置

V0000000007

單第0 -0013 表

10

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

塗膜剥離剤塗布・塗膜除去工
時間的制約なし

V0000000004

單第0 -0014 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

塗膜除去養生設備・シート設置除去

V0000000006

單第0 -0015 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

塗替塗装
清掃・水洗い

SDT00029

單第0 -0016 表

1 m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0034

塗替塗装
素地調整

SDT00029

單第0 -0017 表

m2 当り

2種ケレン

[illegible]

施工単価表

頁0 -0035

塗替塗装

SDT00029

單第0 -0018 表

研削材及びケレンかす回収・積込工

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

塗替塗装		SDT00029		単第0 -0019 表		1		m2		当り	
下塗り塗装		有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層)									
名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考					
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_有機ジンクリッチペイント(2回/層) はけ・ローラー,時間的制約なし		1.000	m2								
諸雑費		1	式								
*** 単位当たり ***		1	m2								
A=1 D=5 I=1	昼間施工 有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層) 時間的制約なし			B=4 H=1	下塗り塗装 -						

施工単価表

頁0 -0037

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0020 表

m2 当り

弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料（2層）

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

單第0 -0021 表

m2 当り

弱溶剤形ふっ素樹脂塗料

[illegible]

施工単価表

塗替塗装		SDT00029		単第0 -0022 表		1		m2		当り	
上塗り塗装		弱溶剤形ふっ素樹脂塗料									
名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考					
昼間_塗替塗装【材工共】		1.000	m2								
上塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料_淡彩											
はけ・ローラー,時間的制約なし											
諸雑費		1	式								
*** 単位当たり ***		1	m2								
A=1	昼間施工			B=6	上塗り塗装						
E=3	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料			F=1	はけ・ローラー						
G=2	淡彩			H=1	-						
I=1	時間的制約なし										

施工単価表

防護柵設置工
Gp - Bp - 2B (ベースプレート式)

V000000100

単第0 -0023 表

21 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.63	人			
普通作業員	5.25	人			
支柱 H=800 (ベース式)	14	本			
ビーム C種4m	12	本			
ビーム C種2m	9	本			
袖ビーム	18	本			
ボルト M16*140	42	個			
ボルト M14*70	126	個			
継手ブラケット	30	個			
中間ブラケット	12	個			
継手パイプ インナースリーブ	12	本			
スコッチテープ	14	枚			

施工単価表

頁0 -0041

防護柵設置工

V000000100

單第0 -0023 表

Gp - Bp - 2B (ベースプレート式)

21

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

単第0 -0024 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

機械構成比: 1.97% 労務構成比: 95.91% 材料構成比: 2.12% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,013.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	0.93%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm	0.65%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	44.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.46%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.70%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0043

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK25040114

單第0 -0024 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

1

孔 当り

機械構成比: 1.97% 労務構成比: 95.91%

材料構成比: 2.12%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,013.20000

[illegible]

施工単価表

薄層舗装修繕工
ロメンパッチDN工法相当

V0000000008

単第0 -0025 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.69	人			
特殊作業員	3.38	人			
普通作業員	5.07	人			
特殊乳剤・骨材 ロメンパッチDN工法相当	266.67	組			
アクリル系浸透系防水材 HQプライマー相当	42.00	kg			
珪砂 5号珪砂	84.00	kg			
雑材料	7	%			#01
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

殻運搬
吹付法面とりこわし(モルタル)
機械構成比: 20.72% 労務構成比: 65.82% 材料構成比: 13.46% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離10.5km以下(9.0km超)

単第0 -0026 表
1
標準単価: 2,833.30000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ダンプトラック 積載質量4t	20.72%		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t積級		KTPC00055 KTPT00055
運転手(一般)	65.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	13.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=4 吹付法面とりこわし(モルタル) C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=43 運搬距離10.5km以下(9.0km超)		

施工単価表

頁0 -0046

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0027 表

桁高1.5m未満

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0047

足場工（朝顔）（床版補強工）
両側朝顔

S3030013

單第0 -0028 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0029 表

シート張防護工

西側朝顔

m2

当日

[illegible]

数量総括表 (造賀東14号線1号橋)

本 工 事 総 括 表								
レベル1	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路維持								
	道路維持修繕工							
		橋梁補修工						
			地覆補修工	コンクリート 24-12-25 (20) BB	m3	1. 1	1	
			地覆補修工	鉄筋 SD345 D13	t	0. 17	0. 2	
			地覆補修工	コンクリート削孔 削孔長170mm	本	180	180	
			地覆補修工	無収縮モルタル	m3	0. 009	0. 009	
		支承取替・主桁取替補修工						
			ゴム支承・アンカーボルト補修工	本締め工	本	16. 0	16	
			ゴム支承・アンカーボルト補修工	六角ナット 黒皮, M22 冷間ホーマー	個	3	3	
			ゴム支承・アンカーボルト補修工	丸座金 黒皮, M22	枚	3	3	
		ひび割れ補修工						
			低圧注入工	ひび割れ補修工 (低圧注入工法) L=2. 6m	構造物	1	1	
			断面修復工	左官工法 V=0. 39m3 鉄筋ケレン・防錆あり	構造物	1	1	
			断面修復工	左官工法 V=0. 16m3 鉄筋ケレン・防錆なし	構造物	1	1	
			断面修復工	鉄筋 SD345 D13	t	0. 0027	0. 003	
		表面保護工						
			下地処理工	下地処理工 高圧洗浄	m2	38. 3	38	
			含浸材塗布工	表面含浸工 ケイ酸塩系ナトリウム含浸材	m2	38. 3	38	
		橋梁付属物工						
			水切工	橋梁床版用後付型水切 (ウォーターカッター相当)	m	21. 5	22	
			伸縮装置補修工	シール材+バックアップ材	m	6. 14	6. 1	BU材0. 1m3
			排水管設置工	排水装置設置 TSステンレス排水装置 床板貫通型	個所	4	4	
		防護柵設置工						
			ガードパイプ設置	ベースプレート式ガードパイプ C種	m	21. 1	21	
		橋面工						
			表層 薄層遮水性 t=5mm	耐摩耗型薄層遮水性舗装	m2	29. 4	29	
		橋梁塗装工						
			湿式塗膜剥離剤工法	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 (2回)	m2	89. 3	89	
			廃材回収・積込	塗膜くず (有害物質含有廃塗膜)	m2	89. 3	89	
			廃材回収・積込	ペール缶	缶	16. 0	16	
		塗膜除去養生設備・シート設置撤去		塗膜除去養生設備・シート設置撤去 (2回)	m2	92. 5	93	
			塗膜くず等収集運搬	塗膜くず等収集運搬費	式	1. 0	1	
			塗膜くず等処分費	塗膜くず	kg	68. 0	68	
			塗膜くず等処分費	廃プラスチック類	kg	180. 0	180	
			清掃・水洗い	清掃・水洗い	m2	44. 7	45	
			素地調整	2種ケレン	m2	44. 7	45	
			素地調整	研削材及びケレンかす回収・積込	m2	44. 7	45	
			防食下地	有機ジンクリッチペイント (2層)	m2	44. 7	45	
			下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (2層)	m2	44. 7	45	
			中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m2	44. 7	45	
			上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	m2	44. 7	45	
	構造物撤去工							
		運搬処理工						
			コンクリート殻運搬		m3	0. 5	0. 5	
			コンクリート殻処分		t	1. 27	1. 3	
	仮設工							
		仮設足場工						
			足場組立・解体	吊足場 (シート防護)	m2	46. 3	50	
		交通管理工						
			交通誘導警備員	交通誘導警備員	㎡	24. 0	24	

数量集計表(造賀東14号線1号橋)

工種	種 別	細 別	規 格	単位	補 修 数 量						
					上部工	下部工			路面工	合 計	計 上 【当初】
						A1橋台	A2橋台	下部工計			
橋 梁 補 修 工	橋梁地覆補修工	コンクリート	σ ck=24N/mm2	m3	—	—	—	—	1.115	1.115	1
		プライマー	シーカエマコC150相当品	m2	—	—	—	—	8.982	8.982	—
		型枠	木製型枠	m2	—	—	—	—	3.982	3.982	—
		鉄筋	SD345 D13	t	—	—	—	—	0.17	0.17	0.2
		鉄筋定着工	23 φ×170	本	—	—	—	—	180	180	180
			無収縮モルタル	m3	—	—	—	—	0.0089	0.0089	0.009
	ゴム支承・アンカー ボルト補修工	ナットゆるみ		箇所	—	7	6	13	—	13	13
		六角ナット・丸座金	M22 N1,W1	個	—	1	2	3	—	3	3
	ひびわれ注入工 (ロス率は概算工事 費に計上)	0.2mm～1.0mm	エポキシ樹脂系注入材1種 (ロス率含む)	m	2.00	—	0.60	0.60	—	2.60	2.6
				kg	0.24	—	0.07	0.07	—	0.31	0.31
			シール材	kg	0.48	—	0.14	0.14	—	0.62	0.62
			注入器具	本	8	—	3	3	—	11.00	11
	断面修復工 (防錆処理有) (ロス率は概算工事 費に計上)	ポリマーセメント モルタル d=5cm	面積	m2	7.78	—	—	—	—	7.78	—
			体積	m3	0.39	—	—	—	—	0.39	0.39
			重量	kg	682.50	—	—	—	—	682.50	—
	断面修復工 (防錆処理無) (ロス率は概算工事 費に計上)	ポリマーセメント モルタル d=3cm(豆板)	面積	m2	3.04	—	2.00	2.00	—	5.04	—
			体積	m3	0.09	—	0.06	0.06	—	0.15	—
			重量	kg	157.50	—	105.00	105.00	—	262.50	—
	断面修復工 (防錆処理無) (ロス率は概算工事 費に計上)	ポリマーセメント モルタル d=5cm	面積	m2	—	0.03	—	0.03	—	0.03	0.15m3
			体積	m3	—	0.002	—	0.002	—	0.002	—
			重量	kg	—	3.50	—	3.50	—	3.50	—
	補強鉄筋	鉄筋	SD345 D13	t	0.0027	—	—	—	—	0.0027	0.003
	表面保護工	下地処理工	高圧洗浄	m2	38.30	—	—	—	—	38.30	38
		表面含浸工 (スーパーシール ド工法)	ケイ酸塩系ナトリウム 含浸材(2回塗り)	〃	38.30	—	—	—	—	38.30	38
			0.15kg/m2	ℓ	5.75	—	—	—	—	5.75	—
			0.10kg/m2	〃	3.83	—	—	—	—	3.83	—
橋梁 付属 物工	伸縮装置補修工	伸縮装置補修	シール材+バックアップ材	m	—	—	—	—	6.14	6.14	6.1
			シール材(シリコン系)	L	—	—	—	—	0.30	0.30	—
	TSステンレス排水管	TSDR-MH	φ 102×1010mm	基	—	—	—	—	4	4	4
	取り付け金具	TS-T1	SUS304 t=6.0mm	組	—	—	—	—	4	4	4
	水切り工	EPDM系ゴム	25mm×20mm	m	21.50	—	—	—	—	21.50	22
塗 装 塗 り 替 え 工	塗替え工	塗膜剥離剤	水系塗膜はく離剤+	m2	89.3	—	—	—	—	89.3	89
			電動工具								
		養生設備・シート 設置除去		m2	92.494	—	—	—	—	92.5	93
			有害物質(塗膜くず)	kg	68.00	—	—	—	—	68.00	68
		産廃	有害物質(廃プラ類)	kg	180	—	—	—	—	180	180
防 護 柵 設 置 工	高欄設置工	新設高欄	ガードパイプ C種 ベースプレート式	m	—	—	—	—	21.13	21.13	21
			支柱(Pipae 114.3 φ×4.5 φ)	本	—	—	—	—	14	14	—
		コンクリート削孔	φ 26×250	本	—	—	—	—	28	28	28
			φ 26×170	〃	—	—	—	—	28	28	28
	橋面 工	舗装打換え工									
構 造 物 撤 去 工	運搬処理工	薄層遮水性舗装工	ロメンパッチDN工法相当 t=5mm	m2	—	—	—	—	29.39	29.39	29
仮 設 工	足場工	吊足場(両側設置)	朝顔・シート張り	m2	—	—	—	—	—	46.3	46
	交通管理工	交通誘導警備員	B	人	—	—	—	—	—	20.00	20

2. 補修数量

2.1 上部工補修数量

床版

床版(側面)

地覆

(1) 床板・地覆

位 置	コンクリートひびわれ								遊離石灰	漏水	コンクリート断面欠損																			
	0.2mm未満		0.2mm～1.0mm		0.2mm～1.0mm		遊離石灰				うき 剝離	鉄筋露出		変形・欠損		豆板(有筋)		豆板(無筋)		表面劣化		地覆撤去								
	m								m2																m3					
	表面保護工		ひび割れ注入工				橋面防水工にて対応				断面修復工(左官工法)																			
番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量			
床版 下面・側面 地覆	3	0.50	5	0.50									2	0.08	1	0.60			62	0.03	21	0.04	77	0.84	66	0.44	10	0.03		
	4	0.70	41	0.50									20	0.02	15	0.03			8	0.14	28	0.04	9	0.62						
	6	0.30	45	0.20									24	0.01	22	0.03					32	0.04								
	7	0.60	53	0.40									33	0.04	38	0.45					35	0.05								
	8	0.40	71	0.40									37	0.05	40	0.12					36	0.03								
	9	0.85											42	0.17	55	0.72					63	0.01								
	10	0.90											43	0.05	56	0.09					11	0.02								
	11	0.90											44	0.09	58	0.24					12	0.05								
	12	0.20											47	0.07	60	0.41					14	0.10								
	13	0.70											48	0.14	64	0.01														
	14	0.70											49	0.02	69	2.04														
	16	0.50											50	0.16	70	0.33														
	17	0.10											54	0.02	72	0.08														
	18	0.60											57	0.09	73	0.07														
	19	0.20											61	0.08	76	0.14														
	23	0.80											65	0.04	16	0.06														
	25	0.50											67	0.05	13	0.03														
	26	0.80											68	0.42																
	27	0.30											74	0.06																
	29	1.00											75	0.12																
	30	0.90																												
	31	1.30																												
	34	0.40																												
	39	0.80																												
	46	0.80																												
	51	0.30																												
	52	0.60																												
	59	0.20																												
小 計	16.85		2.00		0.00		0.00		0.00		0.00		1.78		5.45		0.17		0.38		1.46		0.44		0.03					
補修数量			2.00										7.78												1.46					

2.2 下部工補修数量

2.2.1 A1橋台

位 置	コンクリートひびわれ								遊離石灰	漏水	コンクリート断面欠損																	
	0.2mm未満		0.2mm～1.0mm		1.1mm～ 2.0mm		遊離石灰				うき剥離	鉄筋露出				変形・欠損		豆板(無筋)		表面劣化								
	m								m2																			
	表面保護工		ひび割れ注入				橋面防水工にて対応						断面修復工(左官工法)												表面保護工			
番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量					
A1橋台											1	2.41							3	0.03								
											2	2.90																
小 計	0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		5.31		0.00		0.00				0.03		0.00		0.00					
補修数量													0.03															

2.2.1 A2橋台

位 置	コンクリートひびわれ								遊離石灰	漏水	コンクリート断面欠損													
	0.2mm未満	0.2mm～1.0mm	1.1mm～ 2.0mm	遊離石灰	うき剥離	鉄筋露出	変形・欠損	豆板(無筋)			表面劣化													
												d=50mm	d=30mm											
	m								m2															
	表面保護工		ひび割れ注入				橋面防水工にて対応				断面修復工(左官工法)												表面保護工	
	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量
A2橋台			1	0.60							2	10.85									3	1.07		
																					4	0.40		
																					5	0.13		
																					6	0.40		
小 計	0.00		0.60		0.00		0.00		0.00		10.85		0.00		0.00				0.00		2.00		0.00	
補修数量			0.60																		2.00			

2.3 路面工補修数量

位 置	コンクリート舗装														拡幅部(床版上面)		排水管・排水桝		伸縮装置	
	ひびわれ				路面の段差				うき・剥離		変形・欠損		路面の凸凹 (ポットホール)		豆板(無筋)		排水不良		エラストイトの抜け 変形・欠損	
	5mm 未満		5mm 以上		段差20mm 未満		段差20mm 以上								d=15mm					
	複合薄層遮水性舗装																			
	m				m				m2						m2		箇所			
	車道	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号
					17	3.55	19	3.55	1	0.29	2	0.23			15	1.58				
									3	0.12										
									4	0.06										
									5	0.20										
									6	1.44										
									7	0.25										
小計		0.00		0.00		3.55		3.55		2.36		0.23		0.00		1.58		0		0
補修数量															1.58					

床版(上面)

3. 断面修復工

3.1 断面修復工 床版(下面・側面) 地覆 修復深さ d=5cm

ポリマーセメントモルタル埋戻し 防錆処理有

A	=	1.78	+	5.45	+	0.17	+	0.38	=	7.78	m2
V	=			7.78	×	0.05			=	0.39	m3
				体積(m3)	×	密度(カタログによる)					
w	=	0.39	×		1750	(kg/m3)			=	682.50	kg
断面修復材		V(m3)		0.39					=	<u>0.39</u>	<u>m3</u>

3.2 断面修復工 断面修復 拡幅部 床版(下面・側面・上面) 修復深さ d=3cm(豆板)

ポリマーセメントモルタル埋戻し 防錆処理無

A	=	1.46	+	1.58					=	3.04	m2
V	=			3.04	×	0.03			=	0.09	m3
				体積(m3)	×	密度(カタログによる)					
w	=	0.09	×		1750	(kg/m3)			=	157.50	kg
断面修復材		V(m3)		0.09					=	<u>0.09</u>	<u>m3</u>

3.3 断面修復工 A1橋台 修復深さ d=5cm

ポリマーセメントモルタル埋戻し 防錆処理無

A	=	0.03				=	0.03	m2
V	=		0.03	×	0.05	=	0.002	m3
		体積(m3)	×	密度(カタログによる)				
w	=	0.002	×	1750	(kg/m3)	=	3.50	kg
断面修復材		V(m3)		0.002		=	<u>0.002</u>	<u>m3</u>

3.4 断面修復工 A2橋台 修復深さ d=3cm(豆板)

ポリマーセメントモルタル埋戻し 防錆処理無

A	=	2.00				=	2.00	m2
V	=		2.00	×	0.03	=	0.06	m3
		体積(m3)	×	密度(カタログによる)				
w	=	0.06	×	1750	(kg/m3)	=	105.00	kg
断面修復材		V(m3)		0.06		=	<u>0.06</u>	<u>m3</u>

3.5 コンクリート殻運搬処理工（構造物撤去工に計上）

上記、断面修復(左官工法)によって発生したCo殻の運搬処理を構造物撤去工にて計上

V	=	0.39	+	0.09	+	0.002	+	0.06	=	<u>0.542</u>	<u>m3</u>
										(	1.25 t)

3.6 断面修復 補強筋

SD345 D13 L=2700 W=0.0027t

4. 表面保護工

		床版(下面)		床版(側面上流側)		床版(側面下流側)		床版(拉幅部側面下流側)
上部工	=	32.11㎡	+	2.99㎡	+	2.75㎡	+	0.45㎡
				合計	=	<u><u>38.30</u></u> ㎡		

ケイ酸塩系ナトリウム含浸材(2回塗り)

塗布面積(床版)	38.30	m2
----------	-------	----

1回目塗装(150ml/m2)

	面積m2	塗布量 ℓ/m2	ℓ
w	=	38.30 × 0.15	= 5.75

2回目塗装(100ml/m2)

	面積m2	塗布量 ℓ/m2	ℓ
w	=	38.30 × 0.10	= 3.83

合計	=	<u><u>9.58</u></u> ℓ
----	---	----------------------

1回目塗装合計(床版)	=	5.75ℓ
-------------	---	-------

2回目塗装合計(床版)	=	3.83ℓ
-------------	---	-------

合計(床版)	=	<u><u>9.58</u></u> ℓ
--------	---	----------------------

5. ひびわれ注入材料

5.1 上部工 床版

(1)エポキシ樹脂注入

ひびわれ延長 L

=

2.00

=

2.00

m

(2)エポキシ樹脂注入工標準使用量

注記)

・ひびわれ深さは、ひびわれ幅の200倍を推定した。
コンクリートメンテナンス協会:【ひび割れ注入工におけるひび割れ深さの推定について】より

0.2mm～1.0mm

・注入材 (エポキシ樹脂系注入材 1種)

ひびわれ幅(m) × 深さ(m) × 延長(m) × 密度(kg/m3)

0.0006

×

0.12

×

2.00

×

1150

=

0.17

kg

ロス率40%

=

0.24

kg

・シール材

シール材 幅75(mm)、厚み2(mm)

シール材幅(m) × シール材厚(m) × 延長(m) × 密度(kg/m3)

0.075

×

0.002

×

2.00

×

1600

=

0.48

kg

・注入器具

250(mm)間隔

2.00m

/

0.25m

=

8

本

5.2 下部工 A2橋台

(1)エポキシ樹脂注入

ひびわれ幅 0.2mm～1.0mm

ひびわれ延長 L

=

0.6

=

0.6

m

(2)エポキシ樹脂注入工標準使用量

注記) ・ひびわれ深さは、ひびわれ幅の200倍を推定した。

コンクリートメンテナンス協会：【ひび割れ注入工におけるひび割れ深さの推定について】より

0.2mm~1.0mm

・注入材（エポキシ樹脂系注入材 1種）

ひびわれ幅(m) × 深さ(m) × 延長(m) × 密度(kg/m³)

$$0.0006 \times 0.12 \times 0.60 \times 1150 = 0.05 \text{ kg}$$

ロス率40%

$$= \overline{0.07 \text{ kg}}$$

・シー ル材

シール材 幅75(mm)、厚み2(mm)

$$\text{シール材幅(m)} \times \text{シール材厚(m)} \times \text{延長(m)} \times \text{密度(kg/m}^3\text{)}$$

$$0.075 \times 0.002 \times 0.60 \times 1600 = 0.14 \text{ kg}$$

• 注入器具

250 (mm) 間隔

$$0.60\text{m} \div 0.25\text{m} = \frac{3}{1} \text{ 本}$$

6. 鋼材塗装塗替え工

塗装仕様

ケレン

Ⅱ種相当

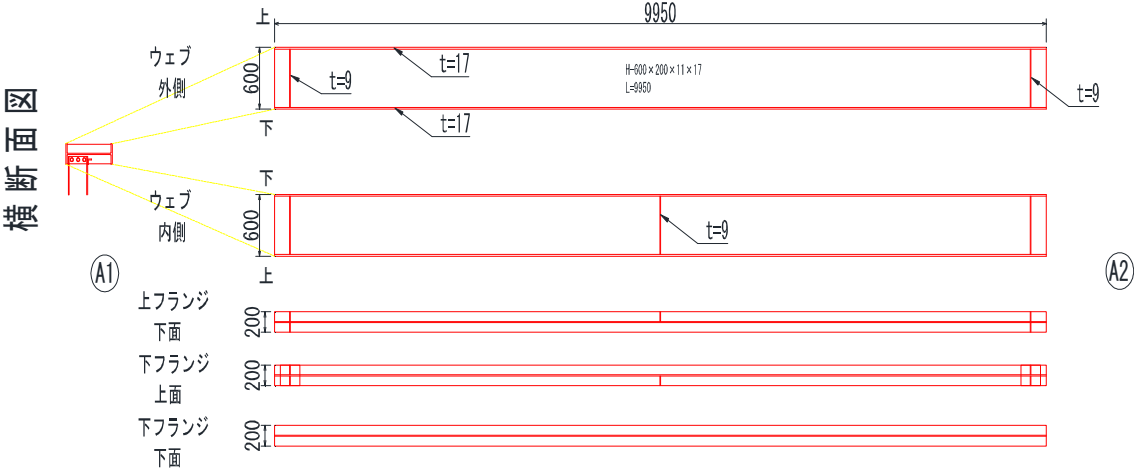
塗り替え塗装仕様

Rc-Ⅱ

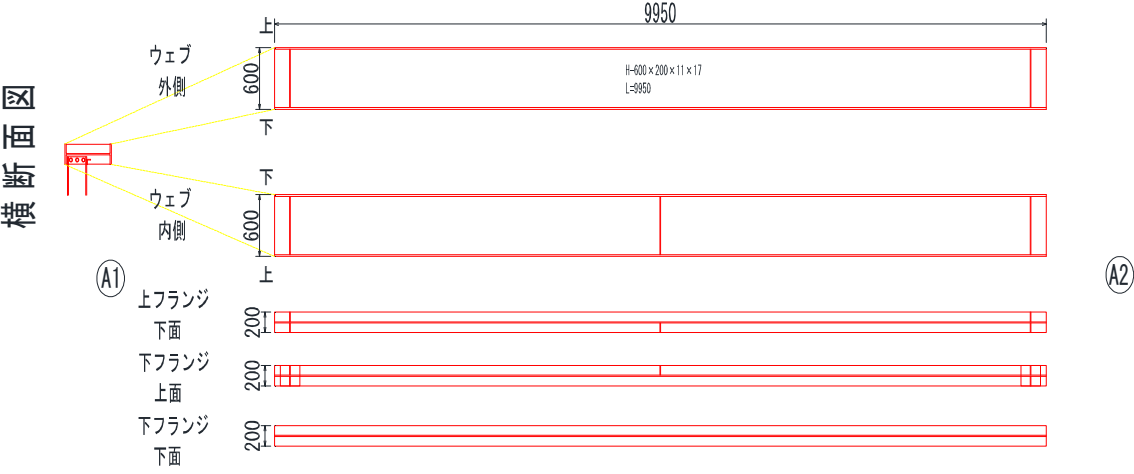
型钢単位長さ当たり表面積:JIS規格にあるもの(デザインデータブックより)

鋼材種別	①単位質量 (kg/m)	②塗装面積 (m2/kg)	単位表面積(m2/m) (全面積)	適用
H-600×200×11×17	103	0.0189	1.947	主桁(G1)
H-600×200×11×17	103	0.0189	1.947	主桁(G2)
[-250×90×9×13	34.6	0.0235	0.813	横桁
	3.06	0.0637	0.195	Lアングル

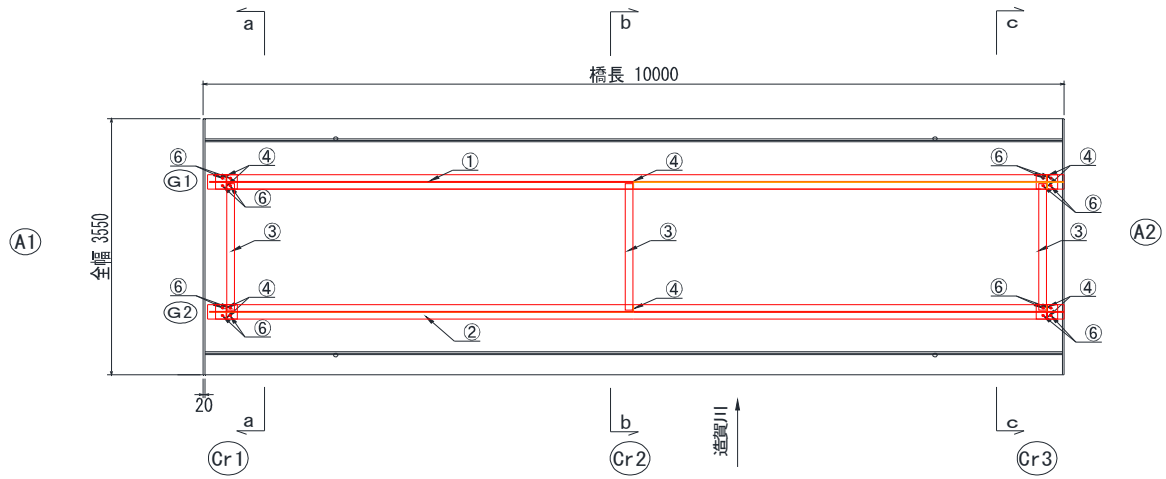
G1主桁詳細図



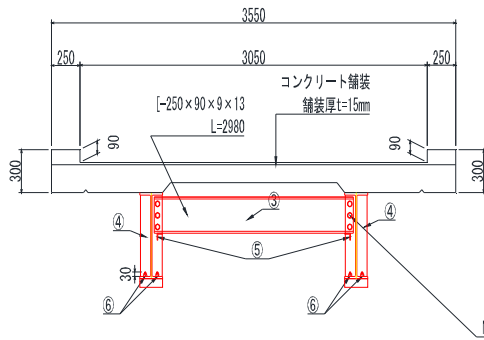
G2主桁詳細図



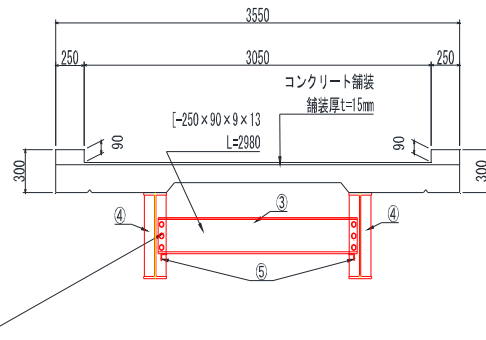
鋼材位置図



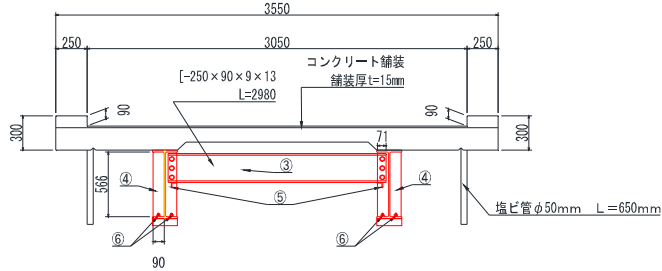
a-a断面図 (Cr1) S=1:25



b-b断面図 (Cr2) S=1:25

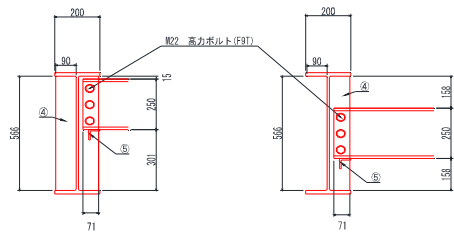


c-c断面図 (Cr3) S=1:25



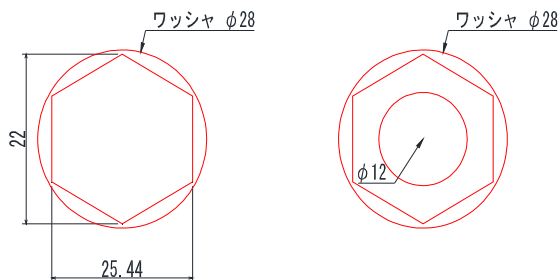
補剛材詳細図 S=1:5 (Cr1~Cr3)

補剛材詳細図 S=1:5 (Cr2)

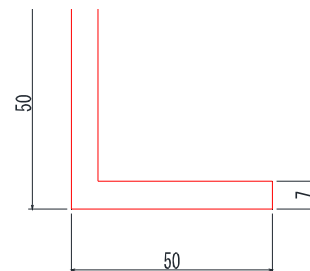


M22 高力ボルト (F9T) (全箇所共通)

S=1:5



山形鋼 詳細図 S=1:5



6.1 塗装面積の計算

・各鋼材部面積

橋体工	箇所	単位表面積 (m2/m)	幅	長さ(m)	本数 箇所数	面数	NeT(%)	面積	適用	番号
主桁	G1	1.947		9.950	1	1	100	19.373	H-600	①
〃	G2	1.947		9.950	1	1	100	19.373	〃	②
横桁	G1,2間	0.813		2.980	3	1	100	7.268	[-250	③
補剛材	横桁部		0.090	0.566	10	2	100	1.019	補剛材 9mm	④
Lアングル	〃	0.195		0.090	6	1	100	0.105	Lアングル 6.5mm	⑤
支承(アンカーボルト)	G1,2	A=0.012× π ×0.030=0.001			8	2	100	0.016	A1,2橋台	⑥
					$\Sigma =$			48.850	m2	

・タッチ部面積

橋体工	箇所	単位表面積 (m2/m)	幅	長さ(m)	本数 箇所数	面数	NeT(%)	面積	適用	番号
-) タッチ部	UF+床版		0.200	9.95	1	1	100	-1.990		①
〃	〃		0.200	9.95	1	1	100	-1.990		②
〃	LF端部+支承		0.200	0.250	4	1	100	-0.200		①,②
〃	横桁+補剛材		0.250	0.007	6	1	100	-0.011		③,④
					$\Sigma =$			-4.191	m2	

$$\text{① 塗装面積} \quad \text{各鋼材部面積} \quad \text{タッチ部面積}$$

$$A = 48.85 + (-4.19) = \underline{\underline{44.66 \text{ m2}}}$$

RC-II 2種ケレン相当

(電動工具等を使用し旧塗膜を全面除去する)

塗装工程	塗料名	使用量(g/m2)
素地調整	II 種相当	
防食下地	有機ジンクリッチペイント	(600)
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用上塗	120

② 剥離剤 鋼構造物用 水系塗膜はく離剤(×2回分を見込む)

$$\text{各鋼材部面積} \quad \text{タッチ部面積}$$

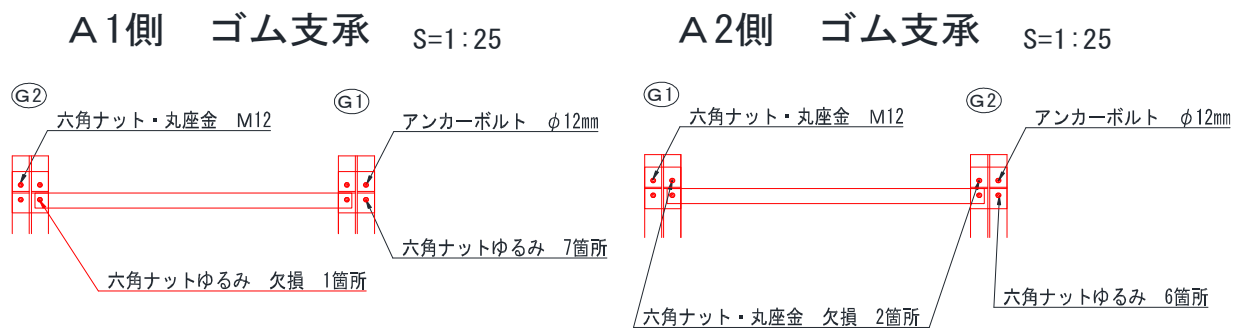
$$A = 48.850 + (-4.191) = 44.66 \times 2 = \underline{\underline{89.32}}$$

③ 塗膜除去養生設備・シート設置除去(×2回分を見込む)

※足場面積より

$$A = 46.247 \times 2 = \underline{\underline{92.494 \text{ m2}}}$$

7. 支承アンカーボルト補修工



ゴム支承 アンカーボルト $\phi 12$ 4箇所 $\times$ 4本 16本

位置	六角ナットゆるみ	六角ナット・丸座金M22 無し
A1側 G1	7	
A1側 G2		1
A2側 G1		1
A2側 G2	6	1

六角ナットゆるみ 合計 13 箇所

六角ナット・丸座金 欠損 合計 3 箇所

8. 伸縮装置補修工

数量表（設置）

名 称	品名又は仕様	単位	数 量	備 考
施 工 延 長	遊間防水	m	6.100	
常温型As乳剤	ユニコールド相当品	m	6.100	
止水材	バックアップ材	m2	0.120	

9. 水切工

EPDM系ゴム

$$L = 10.00 + 11.50 = \underline{\underline{21.50}} \text{ m}$$



1. 下地処理

ウォーターカッターを設置する下地面を清掃し、ホコリや油分を取り除いてください。凹凸の大きい箇所は接着面の水みちを塞ぐための不陸調整を行います。



2. 接着剤塗布

同梱の部材を組み立てて台をつくり、ウォーターカッターの接着面に接着剤を塗布します。接着剤は、同梱の「エポボンド1CH」をご利用ください。



3. 設置

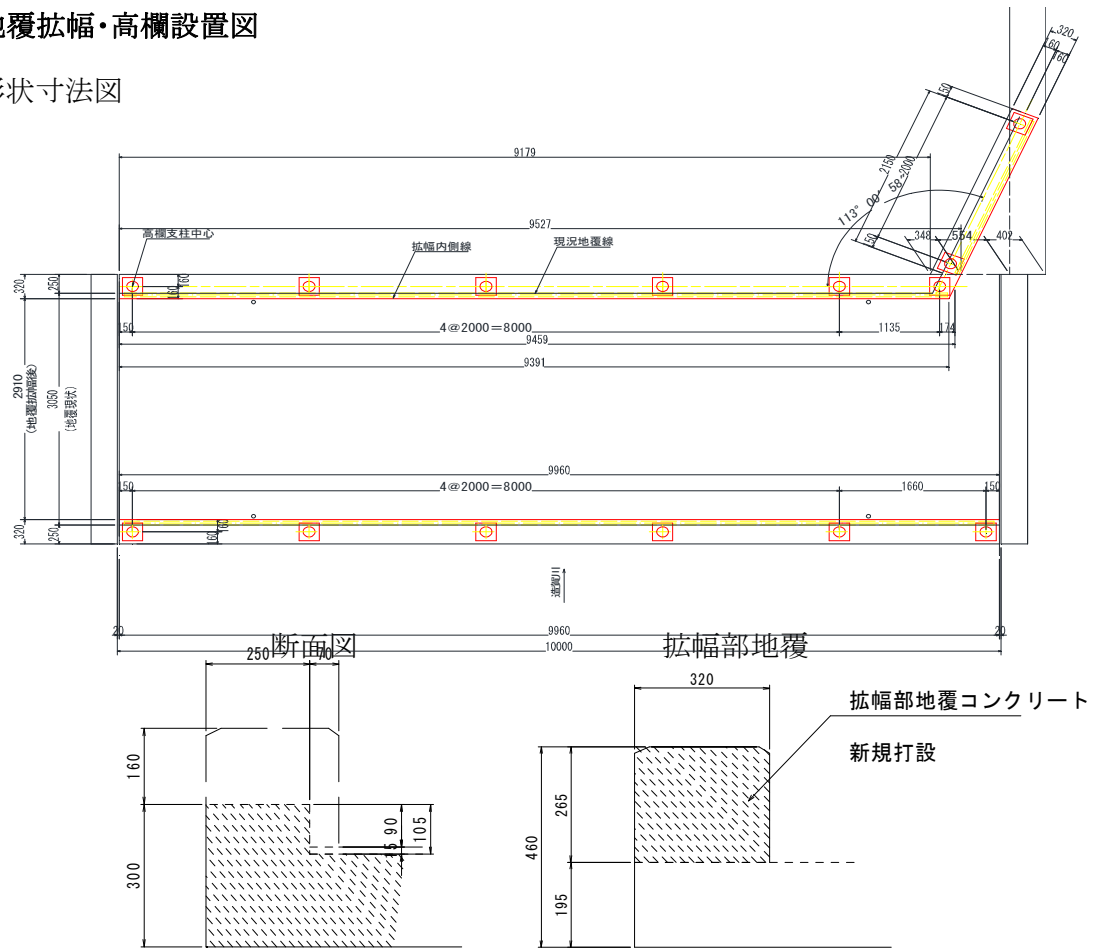
そのまま台を接着面に押し当ててウォーターカッターを接着してください。接着剤の硬化時間は24時間です。

※施工方法についての詳細は、別途技術資料を参照して下さい。

11. 路面補修工

11.1 地覆拡幅・高欄設置図

形状寸法図



チップング表面積

下流側地覆

内側	0.105	×	9.391	=	0.986 m2
平面	0.32	×	1/2(9.527 + 9.391)	=	3.027

上流側地覆

内側	0.105	×	9.96	=	1.046
平面	0.32	×	9.96	=	3.187

拡幅部地覆

平面	2.3	×	0.32	=	0.736
				Σ	= 8.982 m2

11.2 コンクリート体積(σ ck=24N)

下流側地覆	(0.25 × 0.16 + 0.07 × 0.105)			
	× 1/2(9.527 + 9.391)	=	0.448 m3	
上流側地覆	(0.25 × 0.16 + 0.07 × 0.105) × 9.96	=	0.472	
拡幅部地覆	0.32 × 0.265 × 2.300	=	0.195	
				Σ = 1.115 m3

11.3 型枠面積

上流側地覆	0.16	×	2 +	0.105	×	1/2 (	9.527 +	9.391)	=	1.313	m2
下流側地覆	0.16	×	2 +	0.105	×	9.96			=	1.366	
拡幅部地覆	0.265	×	(	2.367 +	2.231)	+	0.265	×	0.32	=	1.303
										Σ	= 3.982 m2

11.4 鉄筋

SD345 D13 W = 170 kg

11.5 鉄筋定着工

削孔径 23 Φ × 170 N= 180 本
無収縮モルタル体積
$$V = \pi/4 \times (0.023^2 \times 0.170 - 0.013^2 \times 0.160) \times 90 \times 2 = \underline{\underline{0.008891 \text{ m}^3}}$$

11.6 高欄

ガードパイプ C種

高欄延長 = 下流側 9.136 + 上流側 9.99 + 拡幅 2.00 = 21.126 m
支柱本数 N = 14 本 (Pipe 114.3 Φ × 4.5 Φ)

	断面	長さ	本数	1個質量	質量	材質
ベース PL	230 × 12 ×	230	14	4.983	70	SM400A
Rib PL	48 × 6 ×	100	28	0.181	5	SM400A
アンカーB.N	M16 ×	280	28	0.442	12	SS400
〃	M16 ×	200	28	0.316	9	〃
座金	M16		56	0.01	1	〃
				Σ =	97	kg

11.7 高欄アンカー定着工

コンクリート削孔 28 - Φ 26 × 250
28 - Φ 26 × 170
無収縮モルタル体積
$$V = \pi/4 \times (0.026^2 \times 0.250 - 0.016^2 \times 0.24) \times 28 = 0.00237 \text{ m}^3$$
$$V = \pi/4 \times (0.026^2 \times 0.170 - 0.016^2 \times 0.16) \times 28 = 0.00163$$
$$\Sigma = 0.00400 \text{ m}^3$$

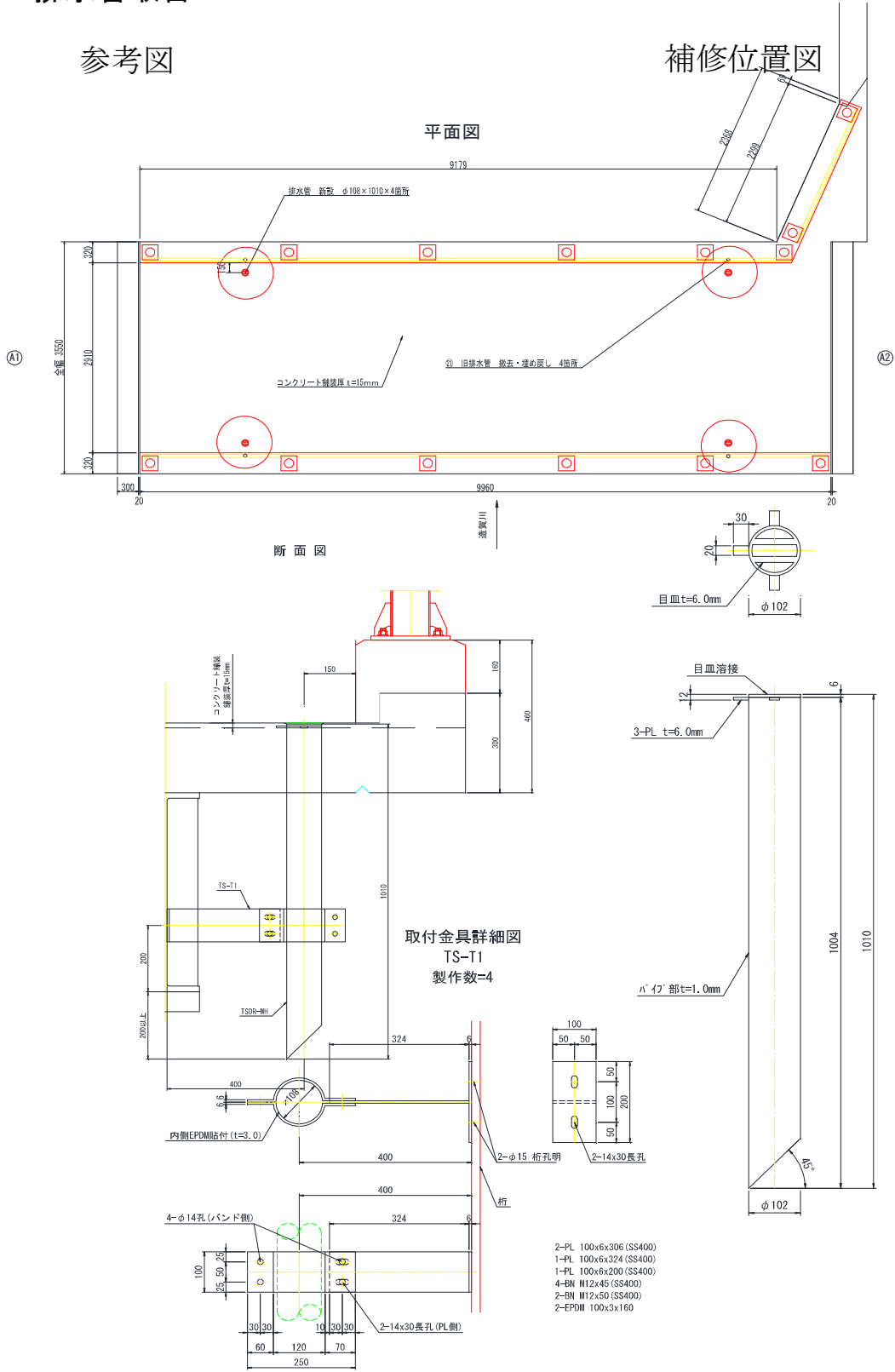
(無収縮モルタル: 1,875kg/m³ = 7.5 kg)

1m ³ 当りの 標準配合	製 品	目標軟度 J ₁₀ 漏斗流下値 (秒)	W/(C+T) (%)	単位量(kg/m ³)		1m ³ 当りの 使用量
				材 料	水	
	フレタスコン TYPE-1 フレタスコン TYPE-1R	8±2	36.0	1,875	338	75袋

12. 排水管取替工

参考図

補修位置図



12.1 TSステンレス排水装置

1) TSステンレス排水柵 床版貫通型(全ねじタイプ)

TSDR-MH φ102×1010 t=6mm

N = 4 基

12.2 取付金具

1) TS-T1
SUS304 t=6.0mm

N = 4 組

12.3 排水管閉塞	(旧排水管穴)		
	$\phi 50 \quad L=0.195\text{m}$	$0.25 \times 0.25 \times 3.14 \times 0.195=0.038$	
	コンクリート体積($\sigma_{ck}=21\text{N}$) 合計		0.038 m3
12.4 排水管設置	4箇所		
	無収縮モルタル	合計	0.01 m3
12.5 コンクリート削孔			
	$\phi 110 \times 195\text{mm} \times 4$ 箇所		